目録 List

鳥取藩の武器・武具関連職人一覧

大田勝也・大嶋陽一

List of Arms and Armors related Craftsmen of the Tottori clan

Katsuya OTA,Yoichi OSHIMA

はじめに

鳥取藩の職人に関する研究は、刀鍛冶など一部の職人を除きほとんど進んでいない。現状、ある職人について調べるためには、鳥取県立博物館が所蔵する鳥取藩伝来の資料群である「鳥取藩政資料」を逐一確認する必要があり、大変な労力を要する。近年、鳥取藩の家老日記である「控帳」の全文翻刻が完了し、とっとりデジタルコレクション(https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp)において、だれでも簡単に職人名や職名で事項検索が可能になった。しかし、そこに出てくる情報量は膨大で、それらを整理して理解するためには、なお多くの労力を必要としている。

このような研究状況である鳥取藩関係の職人について、本稿は武器や武具関連の職人名の一覧を作成し、職人研究の基礎データを提供しようとするものである。武器・武具関係と限定しているが、実際には藩の職人は直接的、間接的に武器・武具に関わる御用をこなしており、両者の御用に関わる職人の裾野は広いため、本一覧表で取りあげた職人数も延べ800名を超える膨大な数となっている。

本一覧は、後述のような鳥取藩政資料から見出された職人関連の記載内容から特定の項目を抜き出し作成したものである。当然ながら取りあげることができなかった職人も少なからずいると考えられるが、この点は予め了承いただきたい。また、取りあげた職人は、ほぼ鳥取城下に住居する職人であるが、例外として村方のものでも藩の召し抱えとなったもの(例えば刀鍛冶)や他国者でも鳥取城下にやって来ている者、江戸や京都などで召し抱えとなっているものについても記録が残る範囲で掲載している。さらに、一部の職人は途中で職種を変えている場合があり、人名が重複している可能性がある。同一人物だと比定可能な者についてはその旨表中に注記した。

本稿が目的とするところは、鳥取藩の職人に関する調査を行うにあたって、最初の取り掛かりとなる情報を提供するものである。そのため、個別の詳細な履歴までは踏み込んでいない。個別調査を進めるためには、「控帳」のほか、鳥取藩政資料に含まれる各家の家譜や下記で紹介する職人書上等を逐次参照いただく必要がある。

一覧表の作成とそれにかかる文献調査は大田が担当し、一覧表の校訂・追加・調整および表１の作成は大嶋が担当した。解題は大田と大嶋が協議のうえ、大嶋の文責のもと執筆した。

１. 鳥取藩の御細工・御職人について

鳥取藩には、藩主や藩御用を行う職人たちが数多く存在した。鳥取藩の職人については片山新助(片山1993)が岡山藩との比較において若干の検討を行うほかは、鳥取藩研究の基礎文献たる『鳥取藩史』にもほとんど記されていない。職人の概要については『鳥取市史』の記述が的を射ている。

> 藩政時代御用職人の待遇は、御細工・御細工並・御職人の三階級であって、所謂士農工商時代の事であるから、工人の位置は低いものであった。最上級の御細工でも、弓徒相当に過ぎなかった。扶持も二人から五人までゞ、以上は特別である。尤も仕事をすれば、其に対する相当の代価は別に給せられたからでもある。職人から細工迄随分其数は多かった。
>
> (『鳥取市史』(鳥取市役所、1943年)701頁)

御用職人には最上位の御細工以下、御細工並、御職人の３階級あった。『鳥取市史』には記されていないが、御職人に取り立てられるまで、町職人としていくつか藩御用を請け負わせ、実力ある職人を「雇い」という形

〒680-0011 鳥取市東町２-124　鳥取県立博物館
Tottori Prefectural Museum, Higashi-machi 2-124, Tottori, 680-0011 Japan
*E-mail: ooshimay@pref.tottori.lg.jp
[受領 Received 31 Nov. 2022/受理 Accepted 14 Nov. 2022]

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

で「御用聞」に任じていたことが知られる。そこから役立ちそうなものを御職人並とし、さらに優れたものを御職人に取り立てることが多かった。御職人に取り立てられると苗字が与えられ、さらに支配米や扶持、屋敷を拝領した。しかし、職人一覧表を見ると、藩の職人の大半が格式や苗字を持たぬ者らであったことがわかる。

職人の最上位たる御細工であるが、寛保３年(1743)「御支配帳」(鳥取藩政資料1980)では指物師の伊良子軍蔵、張付師の五藤万蔵、仕立師の縄久四郎のわずか３名であった。70年以上のちの文化14年(1817)「御支配帳」(同2014)には、御細工として伊良子中三郎(指物師)・五藤万蔵(張付師)・縄久四郎(仕立師)、御細工並として浅見和平太(白銀師)、浜部儀八郎(刀鍛冶)の計５名が記録されている。このように職人の最高の格である御細工は、近世後期までその格式を保つため人数が押さえられたことが知られる。

しかし、戦争が連続し武器・武具類の製造や軍事行動への従軍など、職人が活躍する幕末になるとその数を大幅に増やす。例えば、文久３年(1863)「御支配帳」(同2044)には御細工と同並として以下の20名が挙がっている。

御細工：縄忠蔵(仕立師)・浜部儀八郎(刀鍛冶)・浅見吉平(白銀師)・佐藤四郎兵衛(打巻師)・早田弥兵衛(鍔師)・足立文右衛門(具足師)・鹿嶋平次郎(白銀師)・近藤宗十郎(研師)

御細工並：日置直助(刀鍛冶)・山本八太夫(刀鍛冶)・岩井源兵衛(革鍛師)・後藤重次郎(彫物師)・藤丸利八郎(打柄師)・片平又六(鎗師)・斉藤東右衛門(弓師)・高田益蔵(桧物師)・中井和平(鉄砲台師)・富田喜兵衛(鍔師)・高木恵助(柄巻師)・安田甚三郎(塗師)

さらに、明治２年(1869)の「御支配帳」では、御細工と同並あわせて50名となり、文久３年からわずか６年間で倍増していることが知られ、幕末期になると御細工という最高位の格式の価値が総体的に低下していることが伺える。

御職人の格にある職人は、御用を果たすため工房を持ち、弟子を使って作業を行っていたようである。勝れた弟子は、師匠から御用聞や御職人並へ推挙される場合があった。また、優秀な職人を藩外から引き抜くこともあったことが一覧表よりわかる。

職人の人別支配は、小納戸や鉄砲奉行、弓奉行など御用先の役場が、職務上の支配とともに行っていた。しかし、軍事御用が格段に増加する安政５年(1858)６月以降、人別支配は町奉行が一括して行うようになった。それにより、御用先の役場は、職務上の支配だけとされた(「町奉行」鳥取藩政資料6901)。

２. 一覧表の見方

一覧表の項目にそって表の見方を簡単に見ておきたい。「職名」の項目は、48の職種をあいうえお順に並べているが、以下、各職について簡単な解説と代表的な家筋を紹介する。

①鐙師(あぶみし)：鐙の製作。秋田家、鈴木家
②鋳物師(いもじ)：武具甲冑等の鋳物金具の製作。辻家、鍋屋家
③打柄師(うちえし)：鎗の打柄の製作。藤丸家
④飾師(かざりし)：武器武具の飾り細工一般の製作。
⑤鍛冶(かじ)：刀鍛冶を除く金物鍛冶(鉄砲、轡などそれぞれに専門あり)。浜田家、岩田家、加納家、並川家、江村家
⑥刀鍛冶(かたなかじ)：刀剣の製作。山本家、日置家、濱部家、梶川家
⑦金具師(かなぐし)：武具や鉄砲などの金具の製作(それぞれに専門あり)。中尾家、中川家
⑧革鍛師(かわきたえし)：具足等の革細工の製作。具足鍛師とされる場合もある。岩井家
⑨切付師(きりつけし)：革細工師一般を指す。寺崎家、岡村家
⑩具足師(ぐそくし)：具足製作の統括・組上げを担当。南都具足師岩井家、小寺家、足立家
⑪具足縅師(ぐそくおどしし)：具足の縅を製作。渡辺家
⑫具足地鉄師(ぐそくじがねし)：具足に使用される鉄金具を製作。
⑬轡師(くつわし)：轡を製作。上田家
⑭鞍打師(くらうちし)：白木の鞍を製作。城戸家、小倉家
⑮軍用大工(ぐんようだいく)：武具大工とも。陣地の大工仕事を行う。文化２年まで存在。近藤家
⑯弦指(げんさし)：弓の弦を製作。のち弦は城下の職人から調達するようになる
⑰拵師(こしらえし)：刀の拵えの製作。幕府献上品などを製作。佐藤甚蔵は江戸の人
⑱指物師(さしものし)：軍用の旗指物の製作。伊良子家、中路家
⑲鞘師(さやし)：刀剣の鞘を製作。市浦家、佐野家
⑳仕立師(したてし)：軍用の下着や羽織を製作。藩主の仕立品製作や修理等も行う。縄家、中尾家、藤井家、尾崎家
㉑白銀師(しろがねし)：銀細工の製作。浅見家、平井家、鹿嶋家
㉒陣器金物師(じんきかなものし)：銅鑼など合戦で使う陣器の製作
㉓象眼師(ぞうがんし)：象眼細工の製作。坂井家

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

㉔台師（だいし）：鉄砲や大筒の銃床の製作。幕末にとくに大筒台師が増える。町大工であった経歴を持つ者もいる。村川家、森永家
㉕楯師（たてし）：楯の製作
㉖柄巻師（つかまきし）：刀の柄巻を製作。佐藤家、平田家
㉗鍔師（つばし）：刀の鍔を製作。早田家
㉘鉄砲師（てっぽうし）：鉄砲の銃身を製作。幕末に小銃師という名称となる。最初は堺・国友から購入していたが幕末期に国産化。榎並家、渋川家、井上家（米子鉄砲師）
㉙鉄砲金具師（てっぽうかなぐし）：鉄砲の引き金など金具を製作。幕末に小銃金具師という名称となる。二岡家
㉚鉄砲象眼師（てっぽうぞうがんし）：鉄砲に象眼を行う
㉛鉄砲大工（てっぽうだいく）：鉄砲の銃床を製作。のち鉄砲台師となる
㉜鉄砲台師（てっぽうだいし）：鉄砲の銃床を製作。幕末に小銃台師となる。野口家、岡本家
㉝研師（とぎし）：刀剣などの研磨。刀と鎗の研師といった専門があった。「目利師（めききし）」は、研師のなかから選ばれた者で、刀剣の鑑定を行う。竹屋家、飯田家、高月家、近藤家、安城家
㉞塗師（ぬし）：漆塗りの職人。⑲鞘師と㊶蒔絵師も漆を扱う。加藤家、松本家
㉟羽織師（はおりし）：陣羽織等の製作。能勢家
㊱張付師（はりつけし）：表具師。五藤家、佐々木家、野村家
㊲張田（はりた）：不明
㊳火縄師（ひなわし）：鉄砲の火縄を製作。士分。飯塚家
㊴彫物師（ほりものし）：藩札木型や具足など木彫り彫刻の製作。後藤家
㊵幌籠師（ほろかごし）：母衣の竹籠の製作
㊶蒔絵師（まきえし）：蒔絵の製作。加藤家（塗師の加藤家分家）
㊷滅金師（めっきし）：メッキの職人。幕末に登場する。嶋屋
㊸矢師（やし）：矢の組上げや細工の製作。山田家、河村家
㊹鎗師（やりし）：鎗の製作。片平家
㊺鎗金具師（やりかなぐし）：鎗の金具の製作。中村家
㊻鞲師（ゆがけし）：鞲（弓懸。弓で使用する皮の手袋）の製作。寺崎家
㊼弓師（ゆみし）：弓の製作。斎藤家、坂田家、井上家、小川家
㊽弓下地師（ゆみしたじし）：弓の製作。坂田家（弓師の坂田家と同じ）

次に、「職人名」項目には、典拠とした資料に記される苗字と通称名を記載した。ただし、苗字御免となる以前の先祖については（　）内に苗字を入れて補った。また、通称名を途中で変えている場合、最後の通称名を記載した。途中の通称名は「初名等」の項目に分かる範囲で記載した。「職種」項目には、職名のほか兼職や居住地の情報を記載した。「初見及び典拠資料」項目には、該当する職人の生存時期のおおよその目安とするため初見時期を記載し、その典拠資料も入れた。「備考」項目には、該当する職人の履歴、とくに相続や苗字御免等の情報を略記したが、典拠は煩雑となるため省略した。

3．一覧表の典拠資料

本稿で作成した職人一覧は、鳥取県立博物館所蔵の鳥取藩政資料に含まれる記録を典拠としている。典拠資料は以下のものである。

①「控帳」鳥取藩の家老の日記。「とっとりデジタルコレクション」で翻刻公開
②「目付日記」鳥取藩の目付（警察）の日記。未翻刻
③「江戸家老日記」鳥取藩の江戸家老の日記。未翻刻
④「在方諸事控」鳥取藩の農政部門である在御用場の日記。『鳥取県史』９～13（鳥取県、1975～1978年）に翻刻掲載
⑤「因府年表」鳥取藩士岡嶋正義がまとめた鳥取藩の年表。『鳥取県史』６（鳥取県、1974年）に翻刻掲載

一覧表の作成手順は、上記の典拠資料から武器・武具関係職人の記述を網羅的に抜き出し、そこから職人の履歴を必要最低限に絞り掲載した。

なお、内容の追加訂正のため、天保元年（1830）の「職人書上」（鳥取藩政資料2191）、安政５年（1858）の「職人旧功書一、二、三」（鳥取藩政資料2188～2190、『新修鳥取市史』３（鳥取市、1985年）に所載）、「細工人職人調 二、三」（鳥取藩政資料2192-1,2、「一」は欠失）を使用した。職人書上の内容事例として、天保元年の「職人書上」に出てくる職人について表１にまとめておいたので参照願いたい。職人書上は、職人の履歴、とくに藩御用が詳しく記されており、藩の職人を研究する上で必須の資料である。

4．一覧表から見た藩職人の特色

鳥取藩の職人の職種は、一覧表では48種としているが、若干の重複がある。しかし、萩藩における安政期の職人の職種は44種とされており（山崎2015）、同等の職制を有していたことが知られる。萩藩や鳥取藩など国持大名クラスでは、自家の御用の品を自力で賄うため、職種がかなり分化していたことがわかる。

一覧表では、とくに幕末の鉄砲・大筒関係の職人の動向が注目される。鳥取藩では、嘉永６年（1853）にペ

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

リー艦隊来航の警備のため本牧（横浜市中区）警備を幕府から命じられた。以降、軍事的需要の高まりから安政２年（1855）10月に鉄砲奉行を武器製造御用掛に命じ、藩内で鉄砲製造をはじめた。同５年５月からは、砲術家・武宮丹治をトップとして大砲・小銃など銃器を専業で製造する鉄砲製造役所が創設された。翌６年には武器製造役所が設立され、主に弾薬の製造を行った。このように、幕末期、武器・武具の製造が藩政上の重要課題として浮上してきたのであった。

こうした動向のなか、幕末期には鉄砲・大筒関係部門の増員が著しい。例えば、鍛冶や轡師など他の職種から鉄砲（小銃）金具師といった職種に移される者が増えている（例えば一覧表の538 ～ 548など）。また、鉄砲師（小銃師）に注目すると、泉州堺や江州国友といった鉄砲の産地のほか、江戸（東京）、作州、雲州、丹後など藩外から大量の職人が流入している（一覧表460 ～ 521）。こうした大量流入の内実については今後の課題であるが、当時、鳥取藩に限らず、武備を進める諸藩は、鉄砲職人にとって格好の稼ぎ場であったことがわかる。

おわりに

本一覧表により、大づかみに鳥取藩の職人を把握することが可能となった。今後は、本表が基礎データとなり職人研究が進展していくことを期待したい。

一方で残された課題も多い。例えば、個別の職人の履歴調査や伝生作品調査は、刀鍛冶や鍔師などしか行われておらず、今後の検討課題であろう。また、藩の職人は本職以外の業種に卓越した技術者がいた。例えば、幕末に活躍した鞍打・小倉園三郎は、宮大工として当代随一の腕を持ち、藩や民間の神社建築に携わり現存するものも多い。こうした職人の多様な動向を検討することも今後の課題である。

本研究で作成した一覧表には少なからず不備があると思われる。大方のご意見ならびにご批判をいただければ幸いである。

参考文献

片山新助『岡山藩の絵師と職人』（山陽新聞社、1993）
山崎一郎「萩藩における張付師・表具師について」（『山口県文書館研究紀要』42、2015）

表１　天保元年の鳥取藩職人

	職人名	職種	召し抱え時期	俸禄・拝領屋敷	備考（歴代、師弟関係、出身地ほか）	一覧表	格式
1	高月休平	硎師・目利師	宝永７年（本家筋は池田輝政代）	30俵５人扶持	宮崎（竹屋、高月）隨雪（200石）一族、角野寿見弟子	603 ～ 612	
2	後藤与八	彫物師（金工）	寛文２年（1662）	３人扶持、拝領屋敷本町２丁目	初代与三（右衛門）は後藤光乗祐伯二男長乗の三男覚乗の四男で京都から移住	730 ～ 739	諸職人
3	片平又蔵	鎗師	寛永16年（1639）以降	５人扶持		795 ～ 802	諸職人
4	佐藤久次郎	柄巻師	池田輝政代	20俵４人扶持	①久右衛門②久次郎③久次郎④久次郎⑤久次郎⑥久次郎	408 ～ 415	諸職人
5	山本八之進	刀鍛冶		５人扶持、拝領屋敷桶屋町		160 ～ 165	御細工人並
6	松本八左衛門	塗師	岡山藩時代（一度断絶）	２人扶持	①八左衛門（中絶）②治右衛門③次郎兵衛④平四郎⑤八左衛門	661 ～ 665	諸職人
7	竹村吉右衛門	石工棟梁	享保年間以前	14人扶持	①太郎兵衛②吉右衛門③定次郎④吉右衛門	-	諸職人
8	村川九三郎	鉄砲台師	池田輝政代	20俵３人扶持		390 ～ 395	諸職人
9	日置猶（直）右衛門	刀鍛冶	岡山藩時代	５人扶持	①惣右衛門（銘②惣十郎（銘兼次）③兵右衛門（銘兼次）④兵助（銘兼先）⑤藤蔵（甚六、直助）⑥市郎（伊勢守、銘包次）⑦猶右衛門	166 ～ 174	御細工人並
10	斎藤東市	弓師	延享３年（1746）	20俵３人扶持	①伝兵衛②儀兵衛③東市	822 ～ 827	諸職人
11	藤丸利助	打柄師	享和２年（1802）	２人扶持	京都岡田長右衛門弟子	31 ～ 32	諸職人
12	平井善三郎	白銀師	池田輝政代（三河吉田）	28俵	①平井善弥②仁兵衛③勘兵衛④勘兵衛⑤仁兵衛⑥勘右衛門⑦条助⑧善三郎、２代は江戸白銀師松村又左衛門弟子	353 ～ 358	御細工人並
13	本多（岡本）恵七郎	台師	享和元年（1801）		①多郎左衛門②恵七郎、古田判右衛門弟子・同人推挙	571 ～ 574	
14	近藤宗十郎	研師	宝暦６年（1758）	２人扶持	①新左衛門②宗十郎	616 ～ 619	諸職人
15	河村権左衛門	矢師	寛政７年（1795）	３人扶持	①権兵衛②権左衛門、権兵衛を京都より誘引	782 ～ 787	諸職人
16	坂田平次郎	弓下地師	寛政12年（1800）	３人扶持	①林十郎②平次郎、林十郎を京都より誘引。平次郎子菊蔵は京都岡田長右衛門弟子	828 ～ 830 843 ～ 846	諸職人
17	安城丈次郎	鎗研師	寛政12年（1800）	３人扶持	①庄作②丈次郎	623 ～ 627	諸職人
18	榎並新兵衛	鉄砲金具師	文化５年（1808）	２人扶持	渋川源次弟子・同人推挙	445	諸職人
19	鹿嶋七郎右衛門	白銀師	岡山藩時代	３人扶持		367 ～ 374	諸職人
20	山田茂助	矢師	元禄11年（1698）	３人扶持	①利助②利助③儀三郎④茂助	771 ～ 778	諸職人
21	早田忠兵衛	鍔師	慶長２年（1597）	６人扶持	①春田忠右衛門②早田（春田）忠左衛門③忠左衛門④忠兵衛⑤忠兵衛⑥忠兵衛⑦忠兵衛⑧忠兵衛。初代は駿府出身。銘駿河	424 ～ 430	御細工人並
22	市浦文三郎	鞘師	文禄３年（1594）	３人扶持、拝領屋敷本町２丁目		292 ～ 305	諸職人
23	寺崎林三郎	轡師	文政10年（1827）	銀５枚		810 ～ 812	
24	渋川源次	鉄砲師	寛永12年（1635）	28俵５人扶持	①榎並宇右衛門②宇右衛門③助左衛門④権兵衛⑤源次⑥権兵衛（４代と同）⑦源次、初代堺より推挙。榎並と渋川の苗字を使う	432 ～ 444	諸職人

「職人書上」（鳥取藩政資料2191）より作成。
註１ 典拠資料は職人書上とあるが、すべての職人（御細工全て、同並の一部、御職人の一部）が書き上げられている訳でない。
註２「一覧表」項目は武器・武具関係職人一覧において該当する通し番号。
註２ 格式は文政12年の「御支配帳」（鳥取藩政資料2024）の記述を参照した。

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

後記

本稿で示した職人一覧は、鳥取市在住の歴史研究家である大田勝也氏が10年以上もの歳月を費やし、藩政資料から地道にまとめられた労作をもとにしている。私家版として鳥取県立博物館閲覧室に架蔵されていたが、学術的価値が極めて高く、広く公開されることで斯界へ大きな裨益をもたらすと考え、大田氏のご了解のもと掲載したものである（大嶋記）。

鳥取藩の武器・武具関連職人一覧

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
鐙師	1	秋田瀬七郎		鐙師(倉吉)	享和２年(1802)	控帳	倉吉鉄鐙師。享和２年召し抱え、三人扶持御支配十俵、秋田と改める。文政９年忰八十次(庄左衛門)へ相続
	2	秋田庄左衛門	八十次	鐙師(倉吉)	文政９年(1826)	控帳	瀬七郎忰。文政９年相続。文政９年庄左衛門と改名。嘉永２年忰柳蔵へ相続
	3	秋田柳蔵		鐙師(倉吉)	嘉永２年(1849)	控帳	庄左衛門忰。嘉永２年相続
	4	秋田助六		鐙師(江戸)	万延元年(1854)	控帳	
	5	鈴木徳四郎	太一郎	鐙師	文政９年(1826)	控帳	文政９年苗字御免・鈴木と改姓。嘉永５年徳四郎と改名。安政３年忰新助へ相続
	6	鈴木新助		鐙師・小銃金具師	万延元年(1854)	控帳	徳四郎忰。安政３年相続。明治元年小銃金具師兼帯
鋳物師	7	肥後		鋳物師	明暦２年(1656)	控帳	
	8	辻与惣左衛門		鋳物師	元禄12年(1699)	控帳	元禄12年忰与惣太夫へ相続
	9	辻与惣太夫		鋳物師	元禄12年(1699)	控帳	与惣左衛門忰。元禄12年相続
	10	辻与惣左衛門	多左衛門	鋳物師	寛延３年(1750)	控帳	与惣太夫忰。宝暦12年多左衛門と改名。天明３年忰半内が名代勤め。天明６年死去
	11	辻半内	与惣左衛門	鋳物師	天明３年(1783)	控帳	与惣左衛門(多左衛門)忰。天明６年与惣左衛門と改名。のち半内と改名。文化８年忰郡蔵が名代勤。文政５年死去
	12	辻郡蔵		鋳物師	文化８年(1811)	控帳	半内忰。文政５年親跡目。天保７年忰与惣左衛門が名代勤。天保８年二男半蔵が名代勤。嘉永２年忰与惣左衛門が名代勤。嘉永７年大筒金物御用兼帯御免
	13	辻与惣左衛門		鋳物師	天保７年(1836)	控帳	郡蔵忰。天保８年病気、父郡蔵の代番勤御免。嘉永２年父郡蔵の名代勤
	14	辻半蔵		鋳物師	天保８年(1837)	控帳	郡蔵二男。嘉永２年勘当
	15	辻忠兵衛		鋳物師	寛保元年(1741)	控帳	大筒鋳物師。寛保元年死去
	16	鍋屋四郎三郎		鋳物師	安永６年(1777)	控帳	安永６年死去。忰喜十郎へ相続
	17	鍋屋喜十郎		鋳物師	安永６年(1777)	控帳	四郎三郎忰。安永６年相続。天保14年忰忠助へ相続
	18	鍋屋忠助		鋳物師	天保14年(1843)	控帳	喜十郎忰。天保14年に相続
	19	鍋屋市左衛門		鋳物師	弘化３年(1846)	控帳	弘化３年御用聞。文久３年忰善右衛門へ相続
	20	鍋屋善右衛門		鋳物師	嘉永６年(1853)	控帳	市左衛門忰。文久３年に相続
	21	鍋屋善二		鋳物師	明治４年(1871)	目付日記	
	22	忠兵衛		鋳物師	天保３年(1832)	在方諸事控	(鳥取城下)町分新茶屋
	23	森田勝蔵		鋳物師(江戸)	嘉永２年(1849)	江戸家老日記	江戸大筒鋳物師
	24	利兵衛		鋳物師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鋳物師
	25	幾之助		鋳物師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鋳物師
	26	善助		鋳物師	明治２年(1869)	目付日記	伯州米子糀町鋳物師
	27	大坂屋多吉		鋳物師	明治４年(1871)	目付日記	摂州大坂上町通大砲鋳造師
	28	幾蔵		鋳物師	明治４年(1871)	目付日記	雲州松江大砲鋳物師
	29	浅七		鋳物師	明治４年(1871)	目付日記	尾州羽栗郡柳津村大砲鋳物師
打柄師	30	片平又右衛門		打柄師	宝暦３年(1753)	控帳	
	31	藤丸利助		打柄師	享和２年(1802)	控帳	乗物屋助左衛門弟。二人扶持、天保２年忰利八郎へ相続
	32	藤丸利八郎		打柄師	天保５年(1834)	控帳	利助忰。天保２年相続
	33	和利藤右衛門		打柄師	文化４年(1807)	控帳	
飾師	34	吉左衛門		飾師	明暦３年(1657)	控帳	宝永２年死去
	35	因幡		飾師	寛文７年(1667)	控帳	
	36	長四郎		飾師	寛文７年(1667)	控帳	因幡忰
	37	五左衛門		飾師	宝永２年(1705)	控帳	二人扶持
	38	佐右衛門		飾師	元文３年(1738)	控帳	元文３年具足師跡役
	39	足立佐右衛門		飾師・具足師	天保３年(1832)	控帳	具足師兼帯
	40	惣右衛門		飾師	安永５年(1776)	控帳	江戸飾師
	41	惣次郎		飾師	安永５年(1776)	控帳	惣右衛門忰。江戸飾師
	42	久兵衛		飾師(江戸)	天保14年(1843)	江戸家老日記	江戸飾師
鍛冶	43	七兵衛		鍛冶	明暦３年(1657)	控帳	
	44	源左衛門		鍛冶	寛文４年(1664)	控帳	
	45	忠左衛門		鍛冶	延宝３年(1675)	控帳	
	46	二郎右衛門		鍛冶	延宝３年(1675)	控帳	忠左衛門忰。延宝３年追放
	47	六郎右衛門		鍛冶	延宝３年(1675)	控帳	
	48	七右衛門		鍛冶	延宝３年(1675)	控帳	延宝３年自害
	49	九兵衛		鍛冶	延宝３年(1675)	控帳	延宝３年逐電
	50	作左衛門		鍛冶	延宝４年(1676)	控帳	
	51	吉兵衛		鍛冶	元禄11年(1698)	控帳	元禄11年刑罰
	52	甚四郎		鍛冶	宝永元年(1704)	控帳	宝永元年鳥取城下追放

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
鍛冶	53	藤兵衛		鍛冶	宝永２年(1705)	控帳	
	54	六右衛門		鍛冶	宝永２年(1705)	控帳	
	55	安左衛門		鍛冶	宝永２年(1705)	控帳	
	56	(浜田)徳右衛門		鍛冶	宝永３年(1706)	控帳	浜田と改。明和７年忰又四郎へ相続
	57	浜田徳右衛門	又四郎	鍛冶	明和７年(1770)	控帳	徳右衛門忰。明和７年に相続。徳右衛門と改。寛政４年甥徳平次を養子。寛政４年養子徳平次へ相続
	58	浜田徳平次		鍛冶	寛政４年(1792)	控帳	徳右衛門養子。寛政４年に相続。文化８年忰徳右衛門へ相続
	59	浜田又右衛門	徳右衛門	鍛冶	文化８年(1811)	控帳	徳平次忰。文化８年に相続。文政２年又右衛門と改名
	60	浜田九右衛門		鍛冶	慶応２年(1866)	控帳	又右衛門忰
	61	五郎作		鍛冶	宝永３年(1706)	控帳	
	62	長右衛門		鍛冶	宝永３年(1706)	控帳	
	63	久助		鍛冶	宝永３年(1706)	控帳	
	64	与左衛門		鍛冶	宝永３年(1706)	控帳	
	65	五郎兵衛		鍛冶	享保元年(1716)	控帳	
	66	又四郎		鍛冶	享保11年(1726)	控帳	
	67	吉左衛門		鍛冶	享保11年(1726)	控帳	
	68	忠兵衛		鍛冶	享保12年(1727)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町
	69	伊兵衛		鍛冶	享保15年(1730)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町。享保15年行方知れず
	70	亦左衛門		鍛冶	享保18年(1733)	控帳	
	71	平吉		鍛冶	元文３年(1738)	控帳	
	72	清六		鍛冶	元文５年(1740)	控帳	(鳥取城下)片原一丁目
	73	忠右衛門		鍛冶	延享３年(1746)	控帳	
	74	仁三郎		鍛冶	延享４年(1747)	控帳	延享４年死去
	75	重郎右衛門		鍛冶	寛延元年(1748)	控帳	寛延元年出奔
	76	与八郎		鍛冶	宝暦元年(1751)	控帳	
	77	与惣治		鍛冶	宝暦４年(1754)	控帳	宝暦４年行方知れず
	78	忠吉		鍛冶	宝暦４年(1754)	控帳	
	79	甚右衛門		鍛冶	宝暦７年(1757)	控帳	宝暦７年出奔
	80	平太夫		鍛冶	宝暦８年(1758)	控帳	
	81	幸三郎		鍛冶	宝暦８年(1758)	控帳	
	82	加納孫左衛門		鍛冶	宝暦８年(1758)	控帳	宝暦９年加納と改。明和７年忰半四郎へ相続。寛政４年自害
	83	加納半四郎		鍛冶	明和７年(1770)	控帳	孫左衛門忰。明和７年に相続
	84	茂左衛門		鍛冶	宝暦11年(1761)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町。明和５年追放
	85	助八		鍛冶	明和元年(1764)	控帳	明和元年御錠前御用
	86	(岩田)与左衛門		鍛冶	明和２年(1765)	控帳	天明２年忰作右衛門(与左衛門)へ相続
	87	(岩田)与左衛門	作右衛門	鍛冶	明和２年(1765)	控帳	与左衛門忰。
	88	岩田与左衛門	作右衛門	鍛冶	天明２年(1782)	控帳	与左衛門忰。天明２年に相続。与左衛門と改名。寛政５年苗字御免、苗字を岩田とする。轡鍛冶。文政元年御用御放
	89	源八		鍛冶	明和３年(1766)	控帳	明和３年忰徳平治へ相続
	90	徳平治		鍛冶	明和３年(1766)	控帳	源八忰。明和３年に相続。明和８年忰源八へ相続
	91	源八		鍛冶	明和８年(1771)	控帳	徳平治忰。明和８年に相続
	92	並川惣吉		鍛冶	明和３年(1766)	控帳	文化４年職人、苗字を並川とする。弘化３年忰忠次郎へ相続
	93	並川忠次郎		鍛冶	弘化３年(1846)	控帳	惣吉忰。弘化３年に相続
	94	(並川)儀三郎		鍛冶	慶応３年(1867)	控帳	忠次郎忰
	95	新六		鍛冶	明和６年(1769)	控帳	(鳥取城下)川外大工町。寛政４年忰次郎兵衛へ相続
	96	次郎兵衛		鍛冶	寛政４年(1792)	控帳	新六忰。寛政４年に相続
	97	小左衛門		鍛冶	明和７年(1770)	控帳	明和７年御用聞。安永８年忰源右衛門へ相続
	98	源右衛門		鍛冶	安永８年(1779)	控帳	小左衛門忰。安永８年に相続
	99	茂左衛門		鍛冶	安永２年(1773)	控帳	(鳥取城下)大工町。安永２年刑罰
	100	権左衛門		鍛冶	安永５年(1776)	控帳	
	101	惣三郎		鍛冶	安永８年(1779)	控帳	
	102	分次郎		鍛冶	安永８年(1779)	控帳	安永８年行方知れず
	103	十太夫		鍛冶	天明２年(1782)	控帳	(鳥取城下)片原二丁目
	104	利兵衛		鍛冶	天明５年(1785)	控帳	
	105	三蔵		鍛冶	天明５年(1785)	控帳	利兵衛弟子
	106	利右衛門		鍛冶	寛政元年(1789)	控帳	
	107	小左衛門		鍛冶	寛政９年(1797)	控帳	天保13年忰小助へ相続
	108	小左衛門	小助	鍛冶	天保13年(1842)	控帳	小左衛門忰。天保13年に相続。小左衛門と改名。万延元年御用聞御免
	109	長右衛門		鍛冶	寛政９年(1797)	控帳	寛政９年自害
	110	次郎兵衛		鍛冶	寛政11年(1799)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町。文化３年弟・藤助へ相続
	111	藤助		鍛冶	文化３年(1806)	控帳	次郎兵衛・弟。文化３年に相続
	112	上田安左衛門		鍛冶・轡師	寛政12年(1800)	控帳	寛政12年御用聞。文政９年苗字を上田とする。轡師兼帯
	113	甚次郎		鍛冶	享和元年(1801)	控帳	享和元年御船宮鉄物御用

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
鍛冶	114	六次郎		鍛冶	享和３年(1803)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町
	115	六左衛門		鍛冶	文化５年(1808)	控帳	文化５年御用聞
	116	文五郎		鍛冶	文化５年(1808)	控帳	
	117	文三郎		鍛冶	文化７年(1810)	控帳	
	118	加納文七		鍛冶	文化９年(1812)	控帳	文化14年御用御免
	119	江村新右衛門	藤助	鍛冶	文化14年(1817)	控帳	文化14年加納文七代り、苗字を江村とする。文政10年新右衛門と改名。安政５年忰直十郎へ相続
	120	江村直十郎		鍛冶・具足地鉄師・小銃金具師	安政５年(1858)	控帳	新右衛門忰。安政５年に相続。具足地鉄師兼帯。明治元年小銃金具師兼帯
	121	六三郎		鍛冶	文化10年(1813)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町
	122	小三郎		鍛冶	文化10年(1813)	控帳	文化10年暇
	123	久三郎		鍛冶	文化10年(1813)	控帳	小三郎忰。文化10年親小三郎代勤
	124	利三郎		鍛冶	文化11年(1814)	因府年表	
	125	源右衛門		鍛冶	文政３年(1820)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町。文政３年御用聞。安政４年忰伝十郎へ相続
	126	伝十郎		鍛冶	安政４年(1857)	控帳	源右衛門忰。安政４年に相続
	127	幸内		鍛冶	文政７年(1824)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町。文政７年御用聞。弘化３年忰徳三郎へ相続
	128	徳三郎		鍛冶	弘化３年(1846)	控帳	幸内忰。弘化３年に相続
	129	甚蔵		鍛冶	天保８年(1837)	控帳	御船宮(御船手)御用聞鍛冶。天保８年退身
	130	藤五郎		鍛冶	天保11年(1840)	控帳	天保11年御用聞御免
	131	七兵衛		鍛冶	弘化３年(1845)	控帳	
	132	吉本儀右衛門		鍛冶	文久３年(1863)	控帳	文久３年苗字を吉本とする
	133	吉本儀兵衛		鍛冶	慶応２年(1866)	控帳	儀右衛門忰
	134	長次郎		鍛冶	嘉永２年(1849)	控帳	
	135	嘉助		鍛冶	嘉永２年(1849)	控帳	
	136	利八郎		鍛冶	嘉永３年(1850)	控帳	嘉永３年御用聞
	137	長助		鍛冶	嘉永３年(1850)	控帳	嘉永３年職人
	138	菊一屋(榎並)次郎兵衛		鍛冶	嘉永４年(1851)	控帳	嘉永４年御用聞。文久２年忰市右衛門へ相続
	139	榎並(菊一屋)市右衛門		鍛冶	文久２年(1862)	控帳	次郎兵衛忰。文久２年に相続。元治２年職人、苗字を榎並とする
	140	源左衛門		鍛冶	安政２年(1855)	控帳	
	141	次郎兵衛		鍛冶	安政２年(1855)	控帳	
	142	又次郎		鍛冶	安政２年(1855)	控帳	
	143	助左衛門		鍛冶	安政３年(1856)	控帳	新品治町。安政３年死去
	144	幸八		鍛冶	安政３年(1856)	控帳	安政３年御用聞
	145	源八		鍛冶	万延元年(1860)	控帳	万延元年御用聞。慶応元年忰庄八へ相続
	146	庄八		鍛冶	慶応元年(1865)	控帳	源八忰。慶応元年に相続
	147	忠蔵		鍛冶・轡師	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町。万延元年武器製造方御用聞。文久２年轡師兼帯
	148	卯一郎		鍛冶	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)今町二丁目。万延元年御用聞
	149	久七		鍛冶	文久元年(1861)	控帳	文久元年武器製造役所御用聞
	150	甚三郎		鍛冶	文久元年(1861)	控帳	文久元年病気につき伝十郎へ御用向振替
	151	源兵衛		鍛冶	文久２年(1862)	控帳	(鳥取城下)鍛冶町
	152	又次郎		鍛冶	文久２年(1862)	控帳	
	153	善四郎		鍛冶	文久２年(1862)	控帳	
	154	佐一郎		鍛冶	文久２年(1862)	控帳	
	155	忠兵衛		鍛冶	元治元年(1864)	控帳	(鳥取城下)下横町。元治元年御用聞
	156	庄右衛門		鍛冶・小銃金具師	元治元年(1864)	控帳	小銃金具師兼帯
	157	源三郎		鍛冶	元治２年(1865)	控帳	元治２年主税様(東館10代池田徳澄)鍛冶御用聞
	158	儀一郎		鍛冶	慶応元年(1865)	控帳	慶応元年武器製造方御用聞
	159	吉兵衛		鍛冶	慶応３年(1867)	控帳	倉吉町鍛冶
刀鍛冶	160	(山本)八郎太夫		刀鍛冶	万治２年(1659)	控帳	鍛冶銘：信濃大掾藤原忠国
	161	山本八郎太夫		刀鍛冶	元禄15年(1702)	控帳	八郎太夫忰。宝永６年苗字御免、山本と改める。五人扶持。鍛冶名：信濃大掾藤原忠国
	162	山本八郎太夫	忠次郎	刀鍛冶	享保５年(1720)	控帳	八郎太夫忰。宝暦７年忰八郎治へ相続
	163	山本八郎太夫	八郎治	刀鍛冶	宝暦７年(1757)	控帳	八郎太夫忰。宝暦７年に相続。明和３年八郎太夫と改名。文化９年忰八之進へ相続
	164	山本八之進		刀鍛冶	文化９年(1812)	控帳	八郎太夫忰。文化９年に相続
	165	山本八之進	浅次郎、八太夫	刀鍛冶	安政３年(1856)	控帳	八之進忰。安政５年八太夫と改名。慶応３年八之進と改名
	166	(日置)兵右衛門		刀鍛冶	元禄７年(1694)	控帳	兵右衛門兼先・兼次。元禄７年死去
	167	日置兵助		刀鍛冶	元禄７年(1694)	控帳	兵右衛門忰。寛保３年死去。鍛冶銘：兼先
	168	日置源次郎		刀鍛冶	享保５年(1720)	控帳	兵助弟。鍛冶銘：兼先
	169	日置三治		刀鍛冶	享保５年(1720)	控帳	鍛冶銘：兼先
	170	日置(藤掛)直助	甚六	刀鍛冶	寛保３年(1743)	控帳	兵助忰。四人扶持。苗字を藤掛と改める。直助と改名。寛政５年苗字を日置と改姓。文化８年市郎忰矢三郎へ相続。文政９年孫直右衛門へ相続。
	171	日置市郎	広助	刀鍛冶	寛政５年(1793)	控帳	直助忰。寛政５年市郎と改名、諱を包次と改める。文化２年「伊勢守」を受領
	172	日置猶右衛門	矢三郎、直右衛門	刀鍛冶	文化８年(1811)	控帳	市郎忰。文化８年に直助の家督を相続。直右衛門と改名。文政９年に相続。文政12年猶右衛門と改名。天保３年忰広次郎へ相続

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
刀鍛冶	173	日置広次郎		刀鍛冶	天保３年(1832)	控帳	猶右衛門忰。天保３年に相続。文久２年忰富三郎へ相続
	174	日置富三郎		刀鍛冶	安政３年(1856)	控帳	広次郎忰。文久２年に相続。文久２年直助と改める。慶応３年仁兵衛と改める
	175	浜部九左衛門	権左衛門	刀鍛冶	天明元年(1781)	控帳	九左衛門と改名。五人扶持。文化７年忰儀八郎へ相続。鍛冶銘 ： 美濃守寿格
	176	浜部儀八郎		刀鍛冶	寛政10年(1797)	控帳	九左衛門忰。弘化２年忰和十郎へ相続
	177	浜部和十郎		刀鍛冶	文政11年(1828)	控帳	儀八郎忰。弘化２年に相続。文久元年忰儀八郎へ相続
	178	浜部儀八郎	和三郎	刀鍛冶	嘉永６年(1853)	控帳	和十郎忰。儀八郎と改名。文久元年に相続
	179	浜野啓次郎		刀鍛冶・小銃金具師	文久２年(1862)	控帳	浜部儀八郎(和三郎)弟子。文久２年職人並、苗字を浜野とする。明治元年小銃金具師兼帯
	180	横瀬助九(七)郎		刀鍛冶	寛政12年(1800)	控帳	伯州河村郡橋津村の刀鍛冶。文化元年苗字を横瀬とする
	181	梶川覚三郎		刀鍛冶	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)新品治町。万延元年武器製造方御用聞。文久３年苗字を梶川とする
	182	梶川六三郎		刀鍛冶	明治元年(1868)	控帳	覚三郎忰
	183	藤本和一郎		刀鍛冶	万延２年(1861)	控帳	伯州八橋郡菊里村の刀鍛冶。万延２年武器製造役所御用聞。苗字を藤本とする
	184	石谷幸吉		刀鍛冶	文久３年(1863)	控帳	御鉄砲。文久３年職人。元治元年苗字を石谷とする
	185	佐々木直市		刀鍛冶	享和元年(1801)	控帳	京都・一条通富小路。享和元年浜部九左衛門内弟子
	186	三品直次郎		刀鍛冶	文化14年(1817)	控帳	尾張御手鍛冶三品直道忰
金具師	187	与一三左衛門		金具師	明暦２年(1656)	控帳	明暦２年死去
	188	弥三左衛門		金具師	明暦３年(1657)	控帳	
	189	権左衛門		金具師	寛文８年(1668)	控帳	
	190	中尾権平		金具師	宝暦13年(1763)	控帳	安永５年忰幸次郎へ名代勤
	191	中尾権之進		金具師	宝暦13年(1763)	控帳	権平忰
	192	中尾権平	幸次郎	金具師	安永５年(1776)	控帳	権平忰。権平と改名。寛政７年浜部九左衛門(刀鍛冶)次男藤蔵を養子
	193	中尾権平	藤蔵	金具師	寛政７年(1795)	控帳	権平養子。権平と改名。文化２年忰所平へ名代勤。文政元年御扶持を召し上げ
	194	中尾所平		金具師	文化２年(1805)	控帳	権平忰。文政元年退身
	195	兵左衛門		金具師	明和元年(1764)	控帳	明和元年忰利兵衛へ相続
	196	利兵衛		金具師	明和元年(1764)	控帳	兵左衛門忰。明和元年に相続
	197	理兵衛		金具師(米子)	明和４年(1767)	控帳	米子金具師。明和４年退身
	198	中川(白銀屋)吉五郎		金具師(米子)	明和４年(1767)	控帳	(鳥取城下)本町傘屋清助忰。明和４年理兵衛に代わり金具師。享和元年苗字を中川とする。文化２年忰代蔵へ相続
	199	中川代蔵		金具師(米子)	文化２年(1805)	控帳	吉五郎忰。文化２年に相続
	200	榎並次郎兵衛		金具師	文政元年(1818)	控帳	鉄砲師。文政元年中尾権平に代わり金具師
	201	長輔		金具師	弘化２年(1845)	控帳	
	202	安坂兼吉		金具師	文久２年(1862)	控帳	御陣器金物師。文久２年苗字を安坂とする
革鍛師	203	弥吉		革鍛師	明暦３年(1657)	控帳	
	204	岩井源兵衛		革鍛師	享和３年(1803)	控帳	文政７年池田斉衆(８代斉稷養子)御召初御甲冑仕立て。天保11年忰源次郎へ相続
	205	岩井源次郎		革鍛師	天保６年(1835)	控帳	源兵衛忰。天保11年に相続。安政６年忰源兵衛へ相続
	206	岩井源兵衛		革鍛師	安政６年(1859)	控帳	源次郎忰。安政６年に相続
切付師	207	九左衛門		切付師	明暦元年(1655)	控帳	
	208	九一郎		切付師	延宝２年(1674)	控帳	
	209	九市郎	与八郎	切付師	享保12年(1727)	控帳	九一郎忰。享保12年に相続、九市郎と改名。明和３年忰与八郎へ相続
	210	与八郎		切付師	明和３年(1766)	控帳	九市郎忰。明和３年に相続
	211	(寺崎)源左衛門		切付師	延宝４年(1676)	控帳	
	212	(寺崎)源左衛門		切付師	享保９年(1724)	控帳	源左衛門忰。享保９年御用聞
	213	寺崎源左衛門		切付師	宝暦12年(1762)	控帳	源左衛門忰。明和元年苗字を寺崎とする
	214	高嶋源左衛門		切付師	明和３年(1766)	控帳	明和３年忰三郎左衛門へ相続
	215	高嶋三郎左衛門		切付師	明和３年(1766)	控帳	源左衛門忰。明和３年に相続
	216	岡村嘉兵衛		切付師	寛政11年(1799)	控帳	寛政11年苗字を岡村とする。天保７年忰庄次郎へ相続
	217	岡村庄次郎		切付師	天保７年(1836)	控帳	嘉兵衛忰。天保７年に相続。文久元年忰治兵衛へ相続
	218	岡村治兵衛		切付師	文久元年(1861)	控帳	庄次郎忰。文久元年に相続
	219	寺崎三郎右衛門		切付師	文化６年(1809)	控帳	文化６年忰猪作へ相続
	220	寺崎猪作		切付師	文化６年(1809)	控帳	三郎右衛門忰。文化６年に相続。嘉永４年忰文八郎へ相続
	221	寺崎文八郎		切付師	嘉永４年(1851)	控帳	猪作忰。嘉永４年に相続。安政３年馬具革類御用
	222	寺崎文之進		切付師	明治２年(1869)	控帳	文八郎二男
具足師	223	岩井喜右衛門		具足師(奈良)	明暦元年(1655)	控帳	南都具足師。寛文６年池田仲澄(初代藩主池田光仲子・東館初代)御具足仕立て
	224	岩井源左衛門		具足師(奈良)	明暦元年(1655)	控帳	南都具足師
	225	岩井勘兵衛		具足師(奈良)	万治３年(1660)	控帳	南都具足師。万治３年新五郎様(２代藩主池田綱清幼名)御具足仕立
	226	岩井吉右衛門		具足師(奈良)	元禄７年(1694)	控帳	南都具足師
	227	岩井九右衛門		具足師(奈良)	元禄８年(1695)	控帳	南都具足師
	228	岩井吉左衛門		具足師(奈良)	元禄10年(1697)	控帳	南都具足師。享保10年(３代池田吉泰もしくは子宗泰の)御召御具足仕立
	229	岩井与七郎		具足師(奈良)	元文３年(1738)	控帳	南都具足師
	230	岩井庄蔵		具足師(奈良)	宝暦７年(1757)	控帳	南都具足師
	231	岩井庄兵衛		具足師(奈良)	寛政２年(1790)	控帳	庄蔵忰。南都具足師

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
具足師	232	小寺助右衛門		具足師	明暦２年(1656)	控帳	苗字を小寺とする
	233	小寺助兵衛		具足師	享保７年(1722)	控帳	享保７年忰助右衛門へ相続
	234	小寺助右衛門		具足師	享保７年(1722)	控帳	助兵衛忰。享保７年に相続
	235	足立佐右衛門		具足師	元文３年(1738)	控帳	飾師。元文３年具足師の跡役となり、苗字を足立とする。宝暦５年忰分六へ相続
	236	足立分六		具足師	宝暦５年(1755)	控帳	佐右衛門忰。宝暦５年に相続。安永７年山本八郎太夫(刀鍛冶)甥文之進を養子とする。享和２年忰文之進へ相続。三人扶持
	237	足立文之進		具足師	安永７年(1778)	控帳	分六養子。享和２年に相続。天保３年忰佐右衛門へ相続。
	238	足立文録	佐右衛門	具足師・飾師	天保３年(1832)	控帳	文之進忰。飾師兼帯。天保３年に相続。万延元年文録と改名。文久元年忰文右衛門(文六)へ相続。39と同一人物
	239	足立文六	文右衛門	具足師	天保11年(1840)	控帳	佐右衛門(文録)忰。文久元年に相続。文六と改名
	240	足立文之進		具足師	元治元年(1864)	控帳	文右衛門(文六)忰
	241	藤次郎		具足師	慶応２年(1866)	控帳	(鳥取城下)上魚町竹屋善次郎弟。慶応２年足立文六(文右衛門)内弟子
	242	浅見和平太		具足師・白銀師	享和３年(1803)	控帳	白銀師。享和３年具足師兼帯。文政７年池田斉衆(８代斉稷養子)御召初御甲冑仕立。天保４年安木玄義次男孫四郎を養子
	243	浅見孫四郎		具足師	天保４年(1833)	控帳	和平太養子
	244	田原伝左衛門		具足師	天保14年(1843)	控帳	壱岐守様(東館)御用聞
	245	板谷(松本屋)文十郎		具足師	文久２年(1862)	控帳	文久３年職人並、苗字を板谷とする
	246	春田播磨		具足師(江戸)	寛政11年(1799)	江戸家老日記	江戸具足師。寛政11年７代池田斉邦御召初御甲冑仕立て
	247	伊勢屋伝兵衛		具足師(江戸)	文久元年(1861)	江戸家老日記	江戸具足師。文久元年12代池田慶徳御甲冑新製仕立て
具足縅師	248	竹森(竹森屋、春田)又右衛門		具足縅師	嘉永６年(1853)	控帳	(鳥取城下)本町四丁目。嘉永６年職人並、苗字を春田とする。文久元年苗字を竹森とする。明治元年小銃金具師兼帯。二人扶持
	249	渡辺源三郎		具足縅師・小銃金具師	安政４年(1857)	控帳	岩井源次郎弟。安政４年職人、苗字を渡辺とする。慶応３年忰源助へ相続
	250	渡辺源助		具足縅師・具足地鉄師・小銃金具師	慶応３年(1967)	控帳	源三郎忰。慶応３年に相続、具足地鉄師兼帯。明治元年小銃金具師兼帯
具足地鉄師	251	浅井七三郎		具足地鉄師	嘉永６年(1853)	控帳	(鳥取城下)川外大工町の町鍛冶。嘉永６年職人並、苗字を浅井とする。二人扶持
	252	太田忠左衛門		具足地鉄師・小銃金具師	元治２年(1865)	控帳	明治元年小銃金具師兼帯
	253	渡辺源助		具足地鉄師	慶応３年(1867)	控帳	源三郎忰。250と同一人物
	254	江村直十郎		鍛冶・具足地鉄師	安政５年(1858)	控帳	鍛冶。具足地鉄師兼帯。120と同一人物
轡師	255	市口左内		轡師	元禄９年(1696)	控帳	阿州(阿波国)轡師
	256	岩田与左衛門		轡師・木鐙金具師	享和２年(1802)	控帳	享和２年木鐙金具師兼帯。文政元年御用御放
	257	上田安左衛門		轡師	天保８年(1837)	控帳	安政３年左近将監様金物細工類御用。安政３年忰藤次郎へ相続。万延２年死去。112と同一人物
	258	上田藤次郎		轡師	安政４年(1857)	控帳	安左衛門忰。安政３年に相続。慶応２年忰安左衛門へ相続
	259	上田安左衛門		轡師	慶応２年(1866)	控帳	藤次郎忰。明治元年小銃金具師兼帯
	260	儀右衛門		鍛冶・轡師	天保８年(1837)	控帳	鍛冶。天保８年上田安左衛門相仕
	261	槌屋文次郎		轡師	弘化３年(1846)	控帳	
	262	忠蔵		鍛冶・轡師	文久２年(1862)	控帳	鍛冶。文久２年轡師兼帯
	263	田中安次郎		轡師・小銃金具師	明治元年(1868)	控帳	明治元年小銃金具師兼帯
鞍打師	264	和利藤右衛門		鞍打師	寛政10年(1798)	控帳	寛政10年召し抱え、二人扶持御支配二十俵。和利と改める。33と同一人物か
	265	城戸専三郎		鞍打師	文化10年(1813)	控帳	城戸と改める。嘉永２年忰茂右衛門へ相続
	266	城戸茂右衛門		鞍打師	弘化３年(1846)	控帳	専三郎忰。嘉永２年に相続
	267	小倉(上野屋)園三郎		鞍打師	天保６年(1835)	控帳	天保８年苗字御免・小倉と改める。慶応２年忰元三郎へ相続
	268	小倉元三郎		鞍打師	慶応２年(1866)	控帳	園三郎忰。慶応２年に相続
軍用大工(武具大工)	269	七左衛門		軍用大工	延宝２年(1674)	控帳	
	270	近藤七郎左衛門		軍用大工	元禄５年(1692)	控帳	宝永４年忰権左衛門へ相続
	271	近藤権左衛門		軍用大工	宝永４年(1707)	控帳	七郎左衛門忰。宝永４年に相続
	272	近藤夫右衛門		軍用大工	宝暦７年(1757)	控帳	七郎左衛門と改める。安永９年平内と改める。寛政10年忰源蔵へ相続
	273	近藤源蔵		軍用大工	寛政10年(1798)	控帳	平内忰。寛政10年に相続。文化２年軍用大工御免
弦刺	274	助六		弦刺	寛文10年(1670)	控帳	
	275	三右衛門		弦刺	延宝５年(1677)	控帳	
拵師	276	佐藤甚蔵		拵師(江戸)	天保13年(1842)	控帳	江戸拵師
指物師	277	伊良子軍蔵		指物師	正徳２年(1712)	控帳	宝暦９年忰小弥太へ代番勤。宝暦12年西山定之進弟豊蔵を養子。明和元年養子豊蔵へ代番勤。明和４年死去
	278	伊良子小弥太		指物師	宝暦９年(1759)	控帳	軍蔵忰
	279	伊良子豊蔵		指物師	宝暦12年(1762)	控帳	軍蔵養子。明和４年に相続
	280	伊良子中三郎		指物師	文化13年(1816)	控帳	天保12年忰弘介へ相続
	281	伊良子弘介		指物師	天保12年(1841)	控帳	中三郎忰。天保12年に相続。弘化３年軍用役
	282	多工		指物師	享保２年(1717)	控帳	
	283	金兵衛		指物師	享保２年(1717)	控帳	
	284	中路弥惣治		指物師	宝暦６年(1756)	控帳	宝暦６年召し出し、二人扶持御支配十俵
	285	中路弥右衛門		指物師	明和４年(1767)	控帳	
	286	中路長次郎		指物師	文化９年(1812)	控帳	文政８年忰多作へ相続
	287	中路多作		指物師	文政８年(1825)	控帳	長次郎忰。文政８年に相続。安政６年忰周次郎へ相続
	288	中路周次郎		指物師	安政６年(1859)	控帳	多作忰。安政６年に相続
	289	又兵衛		指物師	明和３年(1766)	控帳	
	290	利兵衛		指物師・塗師	文政12年(1829)	控帳	塗師兼帯

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
指物師	291	片平丈太夫	又六	指物師	弘化４年(1847)	控帳	鎗師・片平又蔵忰。弘化４年伊良子弘介代り指物師。慶応３年丈太夫と改名
鞘師	292	次左衛門		指物師	明暦３年(1657)	控帳	三人扶持
	293	伝四郎		指物師	元禄16年(1703)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。元禄16年追放
	294	平八		指物師	正徳４年(1714)	控帳	(鳥取城下)本町。正徳４年御国御免
	295	六郎兵衛		指物師	延享３年(1746)	控帳	延享３年追放
	296	市浦治左衛門		指物師	宝永３年(1706)	控帳	宝永３年忰金右衛門(治左衛門)へ相続
	297	市浦治左衛門	金右衛門	指物師	宝永３年(1706)	控帳	治左衛門忰。宝永３年に相続。治左衛門と改名
	298	市浦治左衛門	勘右衛門	指物師	寛延３年(1750)	控帳	治左衛門忰。宝暦元年治左衛門と改名
	299	市浦善八		指物師	宝暦３年(1753)	控帳	宝暦11年忰文右衛門(武左衛門)へ相続
	300	市浦武左衛門	文右衛門	指物師	宝暦11年(1761)	控帳	善八忰。宝暦11年に相続。宝暦12年武左衛門と改名。明和２年忰茂三郎へ相続
	301	市浦茂三郎		指物師	明和２年(1765)	控帳	武左衛門忰。明和２年に相続
	302	市浦半助		指物師	寛政４年(1791)	控帳	寛政７年寺崎三郎右衛門(切付師)次男十蔵を養子。享和３年忰文三郎へ相続
	303	市浦十蔵		指物師	寛政７年(1795)	控帳	半助忰
	304	市浦文三郎		指物師	享和３年(1803)	控帳	半助忰。享和３年に相続。安政４年忰元之進へ代番勤。万延元年忰元之進へ相続
	305	市浦元之進		指物師	安政４年(1857)	控帳	文三郎忰。万延元年に相続
	306	佐野忠兵衛		指物師	宝永８年(1711)	控帳	苗字を佐野とする
	307	佐野忠兵衛	忠右衛門	指物師	享保14年(1729)	控帳	忠兵衛養子。忠兵衛と改名
	308	佐野惣右衛門		指物師	寛政４年(1792)	控帳	寛政４年甥直左衛門を養子。寛政５年忰直左衛門へ相続
	309	佐野直左衛門		指物師	寛政４年(1792)	控帳	惣右衛門忰。寛政５年に相続。文化４年忰兵四郎へ相続
	310	佐野忠兵衛		指物師	享和元年(1801)	控帳	直左衛門忰
	311	佐野兵四郎		指物師	文化４年(1807)	控帳	直左衛門忰。文化４年に相続。文政６年忰周次が名代勤め。文政７年名代勤御免。文政９年忰徳左衛門へ相続
	312	佐野周次		指物師	文政６年(1823)	控帳	兵四郎忰。文政７年病気
	313	佐野徳左衛門		指物師	文政９年(1826)	控帳	兵四郎忰。文政９年に相続。嘉永元年忰周平へ相続
	314	佐野周平		指物師	嘉永元年(1848)	控帳	徳左衛門忰。嘉永元年に相続。嘉永６年忰猪八郎へ相続
	315	佐野猪八郎		指物師	嘉永６年(1853)	控帳	周平忰。嘉永６年に相続
	316	惣兵衛		指物師	明和７年(1770)	控帳	明和７年御用聞
	317	嘉右衛門		指物師	寛政12年(1800)	控帳	
	318	長蔵		指物師	文化２年(1805)	控帳	嘉右衛門忰
	319	幾田文左衛門		指物師	文化２年(1805)	控帳	豊前守様(西館)鞘師。高木恵助兄
	320	横山文蔵		指物師	安政４年(1857)	控帳	安政４年職人・苗字を横山とする
仕立師	321	縄久四郎		仕立師	宝永２年(1705)	控帳	延享２年町医石田三学弟善次郎を養子。寛延元年忰善次郎へ相続
	322	縄善次郎		仕立師	延享２年(1745)	控帳	久四郎養子。寛延元年に相続。寛政３年御支配召し上げ
	323	縄惣兵衛		仕立師	宝永６年(1709)	控帳	宝永６年死去
	324	縄善次郎	惣次郎	仕立師	宝永６年(1709)	控帳	惣兵衛忰。宝永６年召し出し。善次郎と改める。寛政４年次男久四郎へ相続
	325	縄久四郎		仕立師	寛政４年(1792)	控帳	善次郎次男。寛政４年に相続。天保10年忰忠蔵へ相続
	326	縄忠蔵		仕立師	天保10年(1839)	控帳	久四郎忰。天保10年に相続
	327	縄元蔵		仕立師	元治元年(1864)	控帳	忠蔵忰
	328	中尾藤左衛門		仕立師	安永５年(1776)	控帳	
	329	中尾藤左衛門	重蔵	仕立師	寛政11年(1799)	控帳	藤左衛門忰。藤左衛門と改める。文化２年御当代様(７代藩主池田斉邦)御直垂仕立。
	330	中尾藤兵衛		仕立師	文政２年(1819)	控帳	文政９年忰藤右衛門へ相続
	331	中尾藤右衛門		仕立師	文政９年(1826)	控帳	藤兵衛忰。文政９年に相続。安政６年忰藤左理門へ相続
	332	中尾藤左衛門		仕立師	安政６年(1859)	控帳	藤右衛門忰。安政６年に相続
	333	能勢又四郎		仕立師	文化３年(1806)	控帳	文化３年忰庄兵衛へ相続
	334	能勢庄兵衛		仕立師	文化３年(1806)	控帳	又四郎忰。文化３年に相続。天保３年(９代池田斉訓)御甲冑御召初御召物仕立
	335	藤井丈兵衛	清兵衛	仕立師	文化２年(1805)	控帳	文化２年三人扶持。文政３年丈兵衛と改める
	336	藤井丈次郎		仕立師	文政６年(1823)	控帳	丈兵衛忰。文政６年苗字御免・藤井と改める
	337	藤井和平太		仕立師	嘉永４年(1851)	控帳	安政４年忰吉次郎へ相続
	338	藤井吉次郎		仕立師	安政４年(1857)	控帳	和平太忰。安政４年に相続
	339	尾崎(羽織屋)惣右衛門		仕立師	弘化２年(1845)	控帳	弘化２年苗字御免・尾崎と改める。慶応２年忰勇次郎へ相続
	340	尾崎勇次郎		仕立師	元治元年(1864)	控帳	惣右衛門忰。慶応２年に相続
	341	池成(中嶋屋)丈助		仕立師	安政４年(1857)	控帳	安政４年御用聞。安政４年職人並・苗字御免・池成と改める
	342	池成源助		仕立師	慶応元年(1865)	控帳	
	343	尾和(羽織屋)金次郎		仕立師	安政６年(1859)	控帳	安政６年御用聞。万延元年職人並・苗字御免・尾和と改める。長三郎と改める。文久元年忰金次郎へ相続
	344	尾和金次郎		仕立師	文久元年(1861)	控帳	長三郎忰。文久元年に相続
	345	丸屋長三郎		仕立師	慶応２年(1866)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。慶応２年御用聞
白銀師	346	仁兵衛		白銀師	明暦３年(1657)	控帳	
	347	久左衛門		白銀師	明暦３年(1657)	控帳	
	348	七郎右衛門		白銀師	万治２年(1659)	控帳	
	349	七郎兵衛		白銀師	元禄15年(1702)	控帳	三人扶持。元禄15年死去

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
白銀師	350	亀之丞		白銀師	元禄15年(1702)	控帳	七郎兵衛忰。三人扶持
	351	分左衛門		白銀師	享保９年(1724)	控帳	
	352	藤吉		白銀師	寛保２年(1742)	控帳	寛保２年欠落
	353	平井勘兵衛		白銀師	元禄15年(1702)	控帳	元禄15年取立。平井と改める。宝永７年死去
	354	平井勘兵衛	伝吉	白銀師	宝永７年(1710)	控帳	勘兵衛忰。勘兵衛と改める。寛保２年忰仁兵衛へ相続
	355	平井勘右衛門	仁兵衛、勘兵衛	白銀師	寛保２年(1742)	控帳	勘兵衛忰。寛保２年に相続。勘兵衛と改める。天明２年忰兼助へ相続。勘右衛門と改める。寛政８年次男条助へ相続。寛政11年死去
	356	平井兼助		白銀師	天明２年(1782)	控帳	勘兵衛忰。天明２年に相続。寛政８年眼病
	357	平井条助		白銀師	寛政８年(1796)	控帳	勘右衛門次男。寛政８年に相続。寛政12年跡目相続。御支配二十俵。文化５年白銀屋浅見和平太二男仁兵衛を養子。文政元年死去
	358	平井仁兵衛		白銀師	文化５年(1808)	控帳	条助養子。善三郎と改める。文政元年跡目・御支配二十八俵。文政３年二人扶持。天保４年追放。
	359	浅見久左衛門		白銀師	享保８年(1723)	控帳	享保８年忰宇兵衛へ相続
	360	浅見久左衛門	宇兵衛	白銀師	享保８年(1723)	控帳	久左衛門忰。享保８年に相続。久左衛門と改める。寛保３年忰久兵衛へ相続
	361	浅見久左衛門	久兵衛	白銀師	寛保３年(1743)	控帳	久左衛門忰。寛保３年に相続。寛保３年久左衛門と改める。明和６年忰儀八郎へ相続。安永５年米屋善四郎を養子。天明元年忰久次郎へ相続
	362	浅見儀八郎		白銀師	明和５年(1768)	控帳	久左衛門忰。明和６年に相続。安永５年勘当
	363	浅見久次郎	善四郎	白銀師	安永５年(1776)	控帳	久左衛門養子。久次郎と改める。天明元年に相続。天明４年忰重次郎へ相続。
	364	浅見重次郎		白銀師	天明４年(1784)	控帳	久次郎忰。天明４年に相続。寛政３年浜部九左衛門(刀鍛冶)弟和平太を養子。寛政３年忰和平太へ相続
	365	浅見和平太		白銀師・具足師	寛政３年(1791)	控帳	重次郎養子。寛政３年に相続。享和３年具足師兼帯。天保４年安木玄義次男孫四郎を養子。天保12年忰吉平勘当を赦す。天保13年忰吉平へ相続
	366	浅見吉平	孫四郎	白銀師	天保４年(1833)	控帳	和平太養子。吉平と改める。天保13年に相続。
	367	鹿嶋七郎右衛門		白銀師	享保９年(1724)	控帳	享保９年忰分次郎へ相続
	368	鹿嶋七郎右衛門	分次郎	白銀師	享保９年(1724)	控帳	七郎右衛門忰。享保９年に相続。七郎右衛門と改める
	369	鹿嶋伝兵衛		白銀師	享保17年(1732)	控帳	七郎右衛門忰。享保17年縁別
	370	鹿嶋七郎左衛門		白銀師	宝暦９年(1759)	控帳	七郎右衛門忰。宝暦13年忰分左衛門へ相続
	371	鹿嶋分左衛門		白銀師	宝暦13年(1763)	控帳	七郎左衛門忰。宝暦13年に相続。安永８年忰七郎右衛門へ相続
	372	鹿嶋七郎左衛門	七郎右衛門、七蔵	白銀師	安永８年(1779)	控帳	分左衛門忰。安永８年に相続。天明６年七蔵と改める。文化６年七郎左衛門と改める。天保６年忰平次郎へ相続
	373	鹿嶋平次郎		白銀師	天保６年(1835)	控帳	七郎左衛門忰。天保６年に相続
	374	鹿嶋平之進		白銀師	文久元年(1861)	控帳	平次郎忰
	375	喜助		白銀師・御鎗金具師	弘化２年(1845)	控帳	弘化２年御鎗金具師
	376	森岡重助		白銀師	安政３年(1856)	控帳	安政３年職人・森岡と改める
	377	重太郎		白銀師	文久２年(1862)	控帳	
	378	森山利七		白銀師	元治２年(1865)	控帳	
	379	森山作治		白銀師	元治２年(1865)	控帳	利七忰
	380	油屋利助		白銀師	慶応２年(1866)	控帳	(鳥取城下)二階町二丁目。慶応２年御用聞
陣器金物師	381	安坂(赤銅屋)兼吉		陣器金物師・銅細工師	文久元年(1861)	控帳	銅細工師。文久元年武器製造役所御用聞。文久２年苗字御免・安坂と改める
象眼師	382	坂井文次		象眼師	文政５年(1822)	控帳	文政８年忰作十郎へ相続
	383	坂井作十郎		象眼師	文政５年(1822)	控帳	文次忰。文政８年に相続。天保４年追放
	384	坂井周次		象眼師	文政９年(1826)	控帳	作十郎弟。文政９年勘当御免
台師	385	三郎右衛門		台師	明暦３年(1657)	控帳	
	386	三郎兵衛		台師	寛文８年(1668)	控帳	
	387	助太夫		台師	万治２年(1659)	控帳	
	388	梶田杢左衛門		台師	宝永３年(1706)	控帳	宝永３年立退
	389	庄太夫		台師	宝永３年(1706)	控帳	宝永３年梶田杢左衛門代り召し出し
	390	村川豊左衛門		台師	明和３年(1766)	控帳	明和３年死去
	391	村川三郎兵衛		台師	明和３年(1766)	控帳	豊左衛門忰。明和３年親跡目・三人扶持御支配二十俵。寛政９年忰文左衛門が名代勤め。寛政11年死去
	392	村川文左衛門		台師	寛政９年(1797)	控帳	三郎兵衛忰。寛政11年親跡目・三人扶持御支配二十俵。文化７年忰九三郎が名代勤め。文化９年死去
	393	村川九三郎		台師	文政２年(1819)	控帳	文左衛門忰。弘化２年忰文左衛門へ相続。安政６年死去
	394	村川文左衛門		台師	弘化２年(1845)	控帳	九三郎忰。弘化２年に相続。安政６年親跡目・三人扶持御支配二十俵。文久２年藤丸利八郎(打柄師)忰九三郎を養子。元治元年養子九三郎へ相続。慶応２年死去
	395	村川九三郎		台師	文久２年(1862)	控帳	文左衛門養子。元治元年に相続
	396	森永政右衛門		台師・枡大工	安政４年(1857)	控帳	枡大工。大筒車台師。安政４年職人・苗字御免・森永と改める。文久３年忰藤兵衛へ相続。明治２年扶持支配召し上げ
	397	森永吉兵衛		台師	万延元年(1860)	控帳	政右衛門三男
	398	森永藤兵衛		台師	文久３年(1863)	控帳	政右衛門忰。文久３年に相続
	399	森永政十		台師	明治２年(1869)	目付日記	
	400	森永善平		台師	明治２年(1869)	目付日記	政十忰
	401	森永藤九郎		台師	明治２年(1869)	目付日記	政十忰
	402	福葉友十郎	友右衛門	台師	万延元年(1860)	控帳	万延元年職人・大筒車台師。友十郎と改める。文久元年福葉と改める。文久３年忰金五郎へ相続
	403	福葉金五郎		台師	文久３年(1863)	控帳	友十郎忰。文久３年に相続
	404	池谷幸七		台師	元治２年(1865)	控帳	大筒車台師。元治２年職人並・苗字御免・池谷と改める
	405	臼田兵右衛門		台師	元治２年(1865)	控帳	(鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師
	406	善四郎		台師	元治２年(1865)	在方諸事控	(鳥取城下)桶屋町大工。大筒車台師

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
楯師	407	池内番右衛門		楯師・台師	嘉永６年(1853)	控帳	無頭足軽大工半三郎忰。安政６年大筒台師御用・職人。安政６年職人・苗字御免・池内と改める
柄巻師	408	(佐藤)久右衛門		柄巻師	明暦３年(1657)	控帳	御支配二十俵。寛文４年死去
	409	(佐藤)久次郎		柄巻師	宝永７年(1710)	控帳	御支配二十俵。宝永７年忰源四郎へ相続。延享元年忰久作へ相続
	410	(佐藤)源四郎		柄巻師	宝永７年(1710)	控帳	久次郎忰。御支配二十俵。宝永７年に相続。享保13年欠落
	411	佐藤久次郎	久作	柄巻師	延享元年(1744)	控帳	久次郎忰。延享元年に相続。久次郎と改める。佐藤と改める。宝暦５年忰茂三郎へ相続
	412	佐藤久次郎	茂三郎	柄巻師	宝暦５年(1755)	控帳	久次郎忰。宝暦５年に相続。宝暦５年久次郎と改める。天明２年忰長次郎へ相続
	413	佐藤長次郎		柄巻師	天明２年(1782)	控帳	久次郎忰。天明２年に相続。文化５年懸梅伊兵衛舎弟又三郎を養子。嘉永３年二男貞蔵へ相続
	414	佐藤久次郎	又三郎	柄巻師	文化５年(1808)	控帳	長次郎養子。久次郎と改める。弘化２年眼病
	415	佐藤四郎兵衛	貞蔵	柄巻師	嘉永２年(1849)	控帳	長次郎二男。嘉永３年に相続。嘉永７年四郎兵衛と改める
	416	治兵衛		柄巻師	安永７年(1778)	控帳	安永７年死去
	417	次郎右衛門		柄巻師	安永７年(1778)	控帳	治兵衛忰。安永７年親跡目。
	418	平田半四郎		柄巻師	寛政６年(1794)	控帳	寛政12年平田と改める。文政７年忰要次郎へ相続
	419	平田要次郎		柄巻師	文政５年(1822)	控帳	半四郎忰。文政７年に相続。弘化３年忰甚蔵へ相続
	420	平田甚蔵		柄巻師	弘化３年(1846)	控帳	要次郎忰。弘化３年に相続。万延元年忰幸左衛門へ相続
	421	平田幸左衛門		柄巻師・具足地鉄師・小銃金具師	万延元年(1850)	控帳	甚蔵忰。万延元年に相続。具足地鉄師兼帯。明治元年小銃金具師兼帯
	422	高木恵助		柄巻師・鮫洗師	文政５年(1822)	控帳	文政５年御用聞。鮫洗師兼帯
	423	高木甚兵衛		柄巻師	嘉永２年(1849)	控帳	恵助忰
鍔師	424	(早田)忠兵衛		鍔師	明暦３年(1657)	控帳	駿河鍛冶。六人扶持。万治４年死去
	425	早田忠兵衛		鍔師	享保４年(1719)	控帳	享保４年忰弥兵衛へ相続
	426	早田忠兵衛	弥兵衛	鍔師	享保４年(1719)	控帳	忠兵衛忰。享保４年に相続。忠兵衛と改める。宝暦９年忰弥平へ相続
	427	早田忠兵衛	弥平	鍔師	宝暦９年(1759)	控帳	忠兵衛忰。宝暦９年に相続。寛政４年忠兵衛と改める。享和３年忰来次郎へ相続
	428	早田忠兵衛	来次郎	鍔師	享和３年(1803)	控帳	忠兵衛忰。享和３年に相続。文化２年忠兵衛と改める
	429	早田忠次郎		鍔師	弘化３年(1846)	控帳	安政３年忰弥平へ相続
	430	早田弥平		鍔師	安政３年(1856)	控帳	忠次郎忰。安政３年に相続
	431	富田喜兵衛		鍔師	弘化元年(1844)	控帳	弘化元年職人・富田と改める
鉄砲師(小銃師)	432	(榎並)宇右衛門		鉄砲師	明暦２年(1656)	控帳	
	433	榎並宇右衛門	権兵衛	鉄砲師	寛文８年(1668)	控帳	宇右衛門忰。寛文11年親跡目相続。榎並宇右衛門と改める。元禄７年死去
	434	榎並権兵衛		鉄砲師	元禄７年(1694)	控帳	宇右衛門忰。元禄９年親跡目相続
	435	渋川(榎並)助左衛門		鉄砲師	宝永６年(1709)	控帳	宝永６年死去
	436	渋川(榎並)権兵衛		鉄砲師	宝永６年(1709)	控帳	宝永６年跡目・五人扶持御支配二十五俵
	437	渋川(榎並)新兵衛		鉄砲師	享保６年(1721)	控帳	権兵衛忰
	438	榎並(渋川)源次		鉄砲師	寛保２年(1742)	控帳	寛保２年本名榎並と改める。延享元年弟子半左衛門を養子。宝暦５年鍛冶惣吉忰尾十郎を養子
	439	榎並半左衛門		鉄砲師	延享元年(1744)	控帳	源次養子
	440	榎並権兵衛	尾十郎	鉄砲師	宝暦５年(1755)	控帳	源次養子。権兵衛と改める。享和２年死去
	441	渋川(榎並)源次		鉄砲師	寛政７年(1795)	控帳	権兵衛忰。享和２年親跡目・五人扶持御支配二十五俵。文化２年渋川と改める。嘉永３年嫡孫綱次郎が代番勤め。嘉永６年死去
	442	渋川(榎並)宇一郎		鉄砲師	文化11年(1814)	控帳	源次忰
	443	渋川(榎並)宇右衛門	綱次郎	鉄砲師	天保12年(1841)	控帳	源次嫡孫。嘉永３年宇右衛門と改める
	444	渋川(榎並)弥四郎		鉄砲師	安政６年(1859)	控帳	宇右衛門弟。安政６年下調役手伝御雇
	445	榎並次郎兵衛		鉄砲師・金具師	文化５年(1808)	控帳	渋川源次弟子。文化５年苗字御免・榎並と改める。文政元年中尾権平代り金具師
	446	渋川宇市		鉄砲師	明治４年(1871)	目付日記	
	447	小畑長輔		鉄砲師	嘉永４年(1851)	控帳	
	448	小畑長蔵		鉄砲師	慶応２年(1866)	控帳	長輔忰
	449	榎並兵蔵		鉄砲師	明治元年(1868)	控帳	(鳥取城下)立川の鉄砲師。明治２年行方知れず
	450	井上源六		鉄砲師	明治４年(1871)	目付日記	
	451	(井上)次郎兵衛		鉄砲師(米子)	宝永３年(1706)	控帳	米子鉄砲師
	452	(井上)次郎兵衛		鉄砲師(米子)	宝永３年(1706)	控帳	次郎兵衛養子。米子鉄砲師。宝永３年実子太郎吉へ相続、暇
	453	(井上)太郎吉		鉄砲師(米子)	宝永３年(1706)	控帳	先代次郎兵衛実子。米子鉄砲師。
	454	井上七右衛門		鉄砲師(米子)	文化４年(1807)	控帳	米子鉄砲師。文化４年苗字御免・井上と改める
	455	井上長蔵		鉄砲師(米子)	弘化３年(1846)	控帳	米子鉄砲師
	456	井上源蔵		鉄砲師(米子)	明治２年(1869)	控帳	長蔵忰
	457	芳太郎		鉄砲師(米子)	元治元年(1864)	控帳	米子馬喰町。井上長蔵内弟子。
	458	井上治良(郎)平		鉄砲師(米子)	明治４年(1871)	目付日記	米子小銃師
	459	井上奏蔵		鉄砲師(米子)	明治４年(1871)	目付日記	治良(郎)平忰。米子小銃師
	460	国友林右衛門		鉄砲師	天保３年(1832)	控帳	江州坂田郡国友村鉄砲師
	461	山田五兵衛		鉄砲師	天保13年(1842)	控帳	泉州堺鉄砲師
	462	初五郎		鉄砲師(江戸)	安政２年(1855)	江戸家老日記	江戸京橋横町鉄砲鍛冶
	463	森田吉三郎		鉄砲師	安政４年(1857)	控帳	長州赤間ケ関鉄砲師。森田新助忰
	464	新谷岩右衛門		鉄砲師	安政４年(1857)	控帳	長州赤間ケ関鉄砲師
	465	友三郎		鉄砲師	安政４年(1857)	控帳	長州赤間ケ関鉄砲師。新谷岩右衛門弟子

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
鉄砲師（小銃師）	466	榎並屋政十郎		鉄砲師	安政５年(1858)	控帳	泉州堺鉄砲師
	467	岩田要蔵		鉄砲師(江戸)	安政５年(1858)	江戸家老日記	江戸鉄砲師
	468	岩田善八		鉄砲師(江戸)	文久元年(1861)	江戸家老日記	要蔵忰。江戸鉄砲師
	469	彦五郎		鉄砲師(江戸)	文久元年(1861)	江戸家老日記	要蔵弟子
	470	忠五郎		鉄砲師(江戸)	文久元年(1861)	江戸家老日記	要蔵弟子
	471	小野鋹蔵		鉄砲師(江戸)	安政５年(1858)	江戸家老日記	江戸鉄砲師
	472	国友庄角		鉄砲師(江戸)	安政５年(1858)	江戸家老日記	江戸鉄砲師
	473	榎並助左衛門		鉄砲師	万延元年(1860)	控帳	泉州堺鉄砲師
	474	保田芳三郎		鉄砲師	万延元年(1860)	控帳	阿州阿保村鉄砲師。保田又治忰
	475	安田虎之助		鉄砲師	万延元年(1860)	控帳	作州津山鉄砲師
	476	末吉清吉		鉄砲師	文久元年(1861)	控帳	泉州堺鉄砲師
	477	芝辻清次郎		鉄砲師	文久３年(1863)	控帳	泉州堺鉄砲師。芝辻治兵衛忰
	478	芝辻松次郎		鉄砲師	文久３年(1863)	控帳	泉州堺鉄砲師
	479	河内屋辰蔵		鉄砲師	文久３年(1863)	控帳	泉州堺鉄砲師
	480	兵吉		鉄砲師	文久３年(1863)	在方諸事控	作州東北条郡小中原村鉄砲鍛冶
	481	増蔵		鉄砲師	文久３年(1863)	在方諸事控	兵吉弟子
	482	麗之助		鉄砲師	文久３年(1863)	在方諸事控	兵吉弟子
	483	伊太郎		鉄砲師	文久３年(1863)	在方諸事控	兵吉弟子
	484	武源次		鉄砲師	文久３年(1863)	在方諸事控	兵吉弟子
	485	庄蔵		鉄砲師	元治元年(1864)	控帳	越前鉄砲師和吉下職
	486	作太郎		鉄砲師	元治元年(1864)	控帳	越前鉄砲師和吉下職
	487	武源次		鉄砲師	元治２年(1865)	控帳	作州東北条郡桑原村鉄砲師
	488	浅五郎		鉄砲師	慶応元年(1865)	控帳	泉州堺鉄砲師
	489	万一		鉄砲師	慶応３年(1867)	控帳	雲州嶋根郡森山村鉄砲師
	490	米蔵		鉄砲師	慶応３年(1867)	控帳	但州七味郡村岡鉄砲師
	491	備前屋増次郎		鉄砲師	明治元年(1868)	控帳	作州東北条郡堤中村鉄砲師
	492	鹿之助		鉄砲師	明治元年(1868)	目付日記	作州東北条郡小中原村鉄砲師
	493	栄次郎		鉄砲師	明治２年(1869)	控帳	東京浅草鉄砲師
	494	初太郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	495	源太郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	496	伝次郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	497	庄之助		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	498	利平		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師
	499	源次郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	常州土浦鉄砲師
	500	民蔵		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	東京浅草鉄砲師
	501	政次郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	東京浅草一丁目鉄砲師
	502	栄次郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	東京浅草一丁目鉄砲師
	503	熊蔵		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	丹後宮津金屋谷鉄砲師
	504	熊太郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州木次村鉄砲師下職
	505	重助		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江横浜町鉄砲師下職。明治２年行方知れず
	506	貞太郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江竪町鉄砲師下職。明治２年行方知れず
	507	安蔵		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江寺町鉄砲師下職
	508	芳之助		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	伯州汗入郡稲光村鉄砲師下職
	509	鉄之助		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州意宇郡洞光寺村鉄砲師下職
	510	栄次郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	泉州堺鉄砲師
	511	定之助		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	栄次郎忰。泉州堺鉄砲師
	512	八十吉		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	下総梶鹿郡関宿鉄砲師下職
	513	岩次郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	伯州汗入郡淀江村鉄砲師下職
	514	長兵衛		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	丹後宮津金屋谷鉄砲師
	515	市蔵		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	伊予和気郡堀江村鉄砲師
	516	源蔵		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	丹後宮津鉄砲師
	517	定五郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲師下職
	518	弥平		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	雲州母里鉄砲師
	519	弥三郎		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	伊予成泰郡曽根村小銃師
	520	次郎吉		鉄砲師	明治２年(1869)	目付日記	越前福井小銃師
	521	市蔵		鉄砲師	明治４年(1871)	目付日記	備後府中小銃師
鉄砲金具師（小銃金具師）	522	二岡安次郎		鉄砲金具師(倉吉)	文化２年(1805)	控帳	倉吉鉄砲金具師。文化２年三人扶持
	523	二岡伝内		鉄砲金具師(倉吉)	文政４年(1821)	控帳	文政４年死去
	524	二岡瀬一郎		鉄砲金具師(倉吉)	文政４年(1821)	控帳	文政４年親跡目。天保10年忰友三郎へ相続
	525	二岡友三郎		鉄砲金具師(倉吉)	天保10年(1839)	控帳	瀬一郎忰。天保10年に相続。嘉永７年平三郎と改める。安政４年忰常蔵へ相続
	526	二岡常蔵		鉄砲金具師(倉吉)	安政４年(1857)	控帳	平三郎忰。安政４年に相続。文久元年職人取り上げ

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
鉄砲金具師（小銃金具師）	527	榎並東兵衛	次郎兵衛、新兵衛	鉄砲金具師	文政９年(1826)	控帳	文政10年新兵衛と改める。安政６年東兵衛と改める。文久元年忰春蔵へ相続
	528	榎並新兵衛	春造	鉄砲金具師	天保９年(1838)	控帳	新兵衛（東兵衛）忰。天保12年新兵衛と改める。
	529	井上文次郎		鉄砲金具師・大筒金具師	万延元年(1854)	控帳	嘉永７年大筒金物御用。安政５年職人・大筒金具師・苗字御免・井上と改める
	530	橋本文六		鉄砲金具師・鍛冶	安政５年(1858)	控帳	鍛冶。安政５年職人・苗字御免・橋本と改める
	531	山崎忠次郎		鉄砲金具師・鍛冶	安政５年(1858)	控帳	鍛冶。安政５年職人・苗字御免・山崎と改める
	532	忠三郎		鉄砲金具師	明治２年(1869)	控帳	山崎忠次郎内弟子
	533	黒沢伊左衛門		鉄砲金具師	万延元年(1860)	控帳	万延元年職人。文久元年黒沢と改める
	534	橋本源次郎		鉄砲金具師	万延元年(1860)	控帳	万延元年職人。橋本と改める
	535	源六		鉄砲金具師	明治２年(1869)	在方諸事控	源次郎弟子。榎並春蔵（新兵衛）下職
	536	大津屋文六		鉄砲金具師（倉吉）	文久元年(1861)	控帳	倉吉鉄砲金具師。文久元年職人
	537	木村善四郎		鉄砲金具師	文久３年(1863)	控帳	（鳥取城下）本寺町惣九郎忰。文久３年職人並・苗字御免・木村と改める
	538	庄右衛門		鉄砲金具師・鍛冶	元治元年(1864)	控帳	鍛冶。小銃金具師兼帯
	539	鈴木新助		鉄砲金具師・鐙師	明治元年(1868)	控帳	鐙師。明治元年小銃金具師兼帯。６と同一人物
	540	平田幸左衛門		鉄砲金具師・柄巻師	明治元年(1868)	控帳	柄巻師。明治元年小銃金具師兼帯。421と同一人物
	541	井上佐次郎		鉄砲金具師・弓師	明治元年(1868)	控帳	弓師。明治元年小銃金具師兼帯。832と同一人物
	542	田中安次郎		鉄砲金具師・轡師	明治元年(1868)	控帳	轡師。明治元年小銃金具師兼帯。263と同一人物
	543	渡辺源助		鉄砲金具師・具足縅師	明治元年(1868)	控帳	具足縅師。明治元年小銃金具師兼帯。250と同一人物
	544	上田安左衛門		鉄砲金具師・轡師	明治元年(1868)	控帳	轡師。明治元年小銃金具師兼帯。259と同一人物
	545	浜野啓次郎		鉄砲金具師・刀鍛冶	明治元年(1868)	控帳	刀鍛冶。明治元年小銃金具師兼帯。179と同一人物
	546	江村直十郎		鉄砲金具師・鍛冶	明治元年(1868)	控帳	鍛冶。明治元年小銃金具師兼帯。120と同一人物
	547	竹森又右衛門		鉄砲金具師・具足縅師	明治元年(1868)	控帳	具足縅師。明治元年小銃金具師兼帯。248と同一人物
	548	太田忠左衛門		鉄砲金具師・具足地鉄師	明治元年(1868)	控帳	具足地鉄師。明治元年小銃金具師兼帯。252と同一人物
	549	源蔵		鉄砲金具師（江戸）	安政２年(1855)	江戸家老日記	江戸品川鉄砲金具師
	550	留吉		鉄砲金具師（江戸）	安政３年(1856)	江戸家老日記	江戸深川前嶋伝之助弟子地板師
	551	林蔵		鉄砲金具師（江戸）	安政３年(1856)	江戸家老日記	江戸深川松家安五郎弟子地板師
	552	瀧蔵		鉄砲金具師	明治２年(1869)	控帳	東京浅草鉄砲金具師
	553	足立弘甫		鉄砲金具師	明治２年(1869)	目付日記	但州出石郡出石鉄砲金具師
	554	足立松五郎		鉄砲金具師	明治２年(1869)	目付日記	弘甫弟。但州出石郡出石鉄砲金具師
	555	友十郎		鉄砲金具師	明治２年(1869)	目付日記	丹後熊野郡久美浜十条町鉄砲金具師。橋本源次郎内弟子
	556	伊三郎		鉄砲金具師	明治２年(1869)	目付日記	讃州豊田郡観音寺柳町小銃金具師
	557	藤吉		鉄砲金具師	明治２年(1869)	目付日記	備前津高郡下牧村小銃金具師
	558	半次郎		鉄砲金具師	明治２年(1869)	目付日記	東京米沢町小銃金具師
鉄砲象眼師	559	坂井清次		鉄砲象眼師	文化３年(1806)	控帳	坂井と改める
鉄砲大工	560	梶田新右衛門		鉄砲大工	元禄10年(1697)	控帳	元禄10年惣三郎を養子
	561	梶田惣三郎		鉄砲大工	元禄10年(1697)	控帳	新右衛門養子
	562	庄太夫		鉄砲大工	元禄12年(1699)	控帳	
鉄砲台師（小銃台師）	563	野口源次郎		鉄砲台師	享保14年(1729)	控帳	
	564	野口助太夫		鉄砲台師	享保14年(1729)	控帳	寛保２年忰藤右衛門へ相続
	565	野口源次郎		鉄砲台師	享保14年(1729)	因府年表	助太夫忰。享保14年死去。
	566	野口助太夫	藤右衛門	鉄砲台師	寛保２年(1742)	控帳	助太夫忰。寛保２年に相続。明和５年浜田徳右衛門（鍛冶）忰宇七郎を養子。安永８年助太夫と改める。天明元年忰宇七郎へ相続
	567	野口宇七郎		鉄砲台師	明和５年(1768)	控帳	藤右衛門（助太夫）養子。天明元年に相続。文政５年忰喜次郎へ相続
	568	野口喜次郎		鉄砲台師	文政５年(1822)	控帳	宇七郎忰。文政５年に相続
	569	野口喜兵衛		鉄砲台師	天保11年(1840)	控帳	喜次郎忰
	570	村川三郎兵衛		鉄砲台師	宝永６年(1709)	控帳	
	571	岡本太郎左衛門		鉄砲台師	享和元年(1801)	控帳	岡本と改める。文政３年忰恵七郎へ相続
	572	岡本恵七郎		鉄砲台師	文政３年(1820)	控帳	太郎左衛門忰。文政３年に相続
	573	岡本八左衛門		棒火矢下地師	安政５年(1858)	控帳	安政２年岡本恵七郎(572)から相続。棒火矢下地師。万延元年忰和右衛門へ相続
	574	岡本和市	和右衛門	棒火矢下地師	万延元年(1860)	控帳	八左衛門忰。万延元年に相続。慶応元年細工並
	575	中井和平		鉄砲台師	弘化元年(1844)	控帳	弘化元年苗字御免・中井と改める
	576	中井重兵衛		鉄砲台師	万延元年(1854)	控帳	和平忰
	577	辻友三郎		鉄砲台師・大筒台師	万延元年(1854)	控帳	鉄砲足軽。嘉永７年大筒台師兼帯。安政５年職人・大筒台師・苗字御免・辻と改める。文久３年忰元三郎へ相続
	578	辻元三郎		鉄砲台師	文久３年(1863)	控帳	友三郎忰。文久３年に相続
	579	文右衛門		鉄砲台師（米子）	安政３年(1856)	控帳	米子鉄砲台師
	580	山口保太夫	恵八郎	鉄砲台師・大工	安政４年(1857)	控帳	大工。安政４年職人・苗字御免・山口と改める。明治元年保太夫と改める
	581	後藤小三郎		鉄砲台師・大工	安政４年(1857)	控帳	大工。安政４年職人・苗字御免・後藤と改める
	582	後藤太一郎		鉄砲台師	慶応２年(1866)	控帳	小三郎忰
	583	宮脇勝右衛門		鉄砲台師・大工	元治元年(1864)	控帳	（鳥取城下）今町二丁目大工。小銃台師兼帯
	584	中井幸吉		鉄砲台師	元治２年(1865)	控帳	鉄砲足軽。元治２年職人・苗字御免・中井と改める
	585	松五郎		鉄砲台師（江戸）	安政２年(1855)	江戸家老日記	江戸芝新横町亀蔵店鉄砲台師

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
鉄砲台師（小銃台師）	586	伝次郎		鉄砲台師	明治２年(1869)	目付日記	雲州松江鉄砲台師
	587	芳蔵		鉄砲台師	明治４年(1871)	目付日記	伯州汗入郡稲光村鉄砲台師
研師	588	竹屋九郎兵衛		研師・目利師	明暦２年(1656)	控帳	目利師兼帯。寛文12年京都竹屋甚左衛門忰を養子。宗閑と改める。
	589	竹屋随節	惣兵衛	研師・目利師	寛文12年(1672)	控帳	九郎兵衛忰。目利師兼帯。随節と改める。宝永５年職儀御免。
	590	七左衛門		研師	明暦３年(1657)	控帳	二人扶持。寛文２年死去
	591	三郎太夫		研師	寛文２年(1662)	控帳	二人扶持。宝永７年忰源蔵へ相続
	592	源蔵		研師	宝永７年(1710)	控帳	三郎太夫忰。宝永７年に相続。二人扶持
	593	竹屋作太夫		研師	宝永６年(1709)	控帳	二人扶持。寛保２年高月政右衛門(研師)忰新九郎を養子。延享４年養子七郎兵衛へ相続
	594	竹屋治兵衛		研師	享保８年(1723)	控帳	作太夫養子。二人扶持。享保11年死去
	595	竹屋新九郎		研師	享保11年(1726)	控帳	作太夫実子。治兵衛跡役。二人扶持
	596	竹屋新九郎		研師	寛保２年(1742)	控帳	作太夫養子。
	597	竹屋七郎兵衛		研師	延享３年(1746)	控帳	作太夫養子。延享４年に相続。二人扶持。宝暦13年忰作太夫へ相続。
	598	竹屋作太夫		研師	宝暦13年(1763)	控帳	七郎兵衛忰。宝暦13年に相続
	599	竹屋新次郎		研師	宝暦６年(1756)	控帳	七郎兵衛孫。宝暦６年飯田三郎助(研師)代り召し出し
	600	飯田三郎太夫		研師	宝永８年(1711)	控帳	享保13年忰源左衛門へ相続
	601	飯田三郎太夫	源左衛門	研師	享保13年(1728)	控帳	三郎太夫忰。享保13年に相続。三郎太夫と改める。元文３年忰三郎助へ相続。寛保元年欠落
	602	飯田三郎助		研師	元文３年(1738)	控帳	三郎太夫忰。元文３年に相続。宝暦５年出奔
	603	高月新六		研師・目利師	正徳２年(1712)	控帳	目利師兼帯。五人扶持御支配三十俵。享保12年高田久左衛門忰伝右衛門忰伝之進を養子
	604	高月新六	伝之進	研師・目利師	享保12年(1727)	控帳	新六養子。目利師兼帯。新六と改める。従弟中村弥右衛門を養子。宝暦５年忰弥右衛門へ相続
	605	高月定次郎		研師	享保20年(1735)	控帳	新六甥
	606	高月休平	弥右衛門	研師・目利師	宝暦５年(1755)	控帳	新六養子。宝暦５年に相続。目利師兼帯。休平と改める。寛政８年忰新六へ相続
	607	高月休平	新六	研師・目利師	寛政８年(1796)	控帳	休平忰。寛政８年に相続。目利師兼帯。寛政10年休平と改める。文化５年忰平作が代番勤め。天保３年忰平作へ相続。
	608	高月文次郎		研師	寛政11年(1799)	控帳	休平忰。寛政11年勘当を御免。寛政12年行方知れず
	609	高月平作	来助	研師・目利師	寛政11年(1799)	控帳	休平忰。目利師兼帯。平作と改める。文化５年代番勤。天保３年に相続。嘉永３年忰作之進へ相続。安政５年忰作之進へ相続
	610	高月作之進		研師	弘化３年(1846)	控帳	平作忰。安政５年に相続。文久２年忰友之進が代番勤め。慶応３年早田弥平(鍔師)弟芳之助を養子。慶応３年忰芳之助へ相続
	611	高月友之進		研師	文久２年(1862)	控帳	作之進忰。慶応３年行方知れず
	612	高月芳之助		研師	慶応３年(1867)	控帳	作之進養子。慶応３年に相続
	613	新兵衛		研師	元文元年(1736)	控帳	(鳥取城下)本町
	614	勘助		研師	元文２年(1737)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。寛保３年行方知れず
	615	横山長右衛門		研師	延享３年(1746)	控帳	
	616	近藤新左衛門	新次郎	研師	宝暦11年(1761)	控帳	二人扶持。宝暦11年近藤新左衛門と改める
	617	近藤宗十郎		研師	寛政４年(1792)	控帳	天保６年忰俊蔵へ相続
	618	近藤俊蔵		研師	天保６年(1835)	控帳	宗十郎忰。天保６年に相続。嘉永２年忰周平(宗十郎)が代番勤め。嘉永６年忰宗十郎へ相続
	619	近藤宗十郎	周平	研師	嘉永２年(1849)	控帳	俊蔵忰。宗十郎と改める。嘉永６年に相続
	620	宗助		研師	宝暦13年(1763)	控帳	
	621	幾松		研師	宝暦13年(1763)	控帳	
	622	惣助		研師	明和４年(1767)	控帳	
	623	安城清蔵		研師	寛政12年(1800)	控帳	寛政13年鑓研師。享和元年安城と改める
	624	安城庄作		研師	文政４年(1821)	控帳	文政４年忰丈次郎へ相続
	625	安城寿慶	丈次郎	研師	文政４年(1821)	控帳	庄作忰。文政４年に相続。嘉永７年忰宗三郎へ相続。安政６年寿慶と改める
	626	安城丈次郎	清三郎、宗三郎	研師・目利師	天保７年(1836)	控帳	丈次郎(寿慶)忰。宗三郎と改める。嘉永７年に相続。安政５年目利師。安政６年丈次郎と改める
	627	安城啓太郎		研師	慶応２年(1866)	控帳	清三郎(丈次郎)忰。江戸研師
	628	惣三郎		研師	享和元年(1801)	控帳	
	629	三和屋甚助		研師	文化８年(1811)	控帳	町研師。文化13年御用聞御免
	630	浅野弥五七		研師	文政７年(1824)	控帳	文化２年御用御雇。文政７年職人。安政３年忰武七へ相続
	631	浅野武七		研師	嘉永元年(1848)	控帳	弥五七忰。安政３年に相続、文久３年細工並
	632	井上官十郎		研師	天保２年(1831)	控帳	町研師。天保２年職人・苗字御免・井上と改める。天保９年御用御免
	633	前田庄蔵		研師	天保９年(1838)	控帳	安城丈次郎甥。天保９年井上官十郎代り職人、前田と改める。
	634	米原伊七		研師	天保11年(1840)	控帳	町研師。天保２年職人・米原と改める。天保14年御鎗研師
	635	米原八十助		研師	慶応２年(1866)	控帳	伊七忰
	636	玉川金次郎		研師	文久２年(1862)	控帳	文久２年職人・玉川と改める
	637	松本又兵衛		研師	宝暦６年(1756)	控帳	江戸研師。五人扶持。安永３年出奔
	638	佐藤長蔵		研師	安永５年(1776)	控帳	江戸研師
	639	安城清三郎		研師	慶応２年(1866)	控帳	江戸研師。627と関連ありか
塗師	640	九兵衛		塗師	明暦２年(1656)	控帳	寛文７年御暇
	641	惣兵衛		塗師	明暦３年(1657)	控帳	
	642	太郎左衛門		塗師	寛文７年(1667)	控帳	三人扶持
	643	七左衛門		塗師	延宝２年(1674)	控帳	
	644	次郎左衛門		塗師	延宝２年(1674)	控帳	

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
塗師	645	平兵衛		塗師	元禄７年(1694)	控帳	
	646	十兵衛		塗師	享保２年(1717)	控帳	享保２年大赦
	647	中村次郎左衛門		塗師	宝暦２年(1752)	控帳	宝暦２年忰四郎兵衛へ相続
	648	中村次郎左衛門	四郎兵衛	塗師	宝暦２年(1752)	控帳	次郎左衛門忰。宝暦２年に相続。次郎左衛門と改める。宝暦11年御用御免
	649	左吉		塗師	宝暦２年(1752)	控帳	
	650	伊左衛門		塗師	宝暦６年(1756)	控帳	(鳥取城下)本町一丁目。宝暦６年出奔
	651	源右衛門		塗師	宝暦６年(1756)	控帳	
	652	(岡村)惣右衛門		塗師	宝暦８年(1758)	控帳	宝暦13年中村次郎左衛門跡役。安永４年忰彦三郎(宗九郎)へ相続
	653	岡村宗九郎	彦三郎	塗師	安永４年(1775)	控帳	惣右衛門忰。安永４年に相続。寛政６年岡村と改める。文化６年宗九郎と改める
	654	庄三郎		塗師	宝暦10年(1760)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。宝暦10年出奔
	655	徳右衛門		塗師	宝暦10年(1760)	控帳	
	656	治右衛門		塗師	宝暦13年(1763)	控帳	
	657	加藤七左衛門	与七	塗師	明和３年(1766)	控帳	三人扶持。安永６年忰良助へ相続。与七と改める。安永９年再勤。安永９年七左衛門と改める。天明５年忰良助へ相続
	658	加藤良助	七左衛門	塗師	安永６年(1777)	控帳	七左衛門忰。天明５年に相続。七左衛門と改める。安永９年病気。良助と改める。天明５年本服。寛政元年忰助九郎へ相続
	659	加藤助九郎		塗師・作鞍塗師	寛政元年(1789)	控帳	良助忰。寛政元年に相続。享和２年作鞍塗師兼帯。天保２年忰助三郎へ相続
	660	加藤助三郎		塗師	天保２年(1831)	控帳	助九郎忰。天保２年に相続。天保９年藤利八郎弟平作を養子。天保10年忰平作へ相続
	661	加藤助九郎	平作	塗師	天保９年(1838)	控帳	助三郎養子。天保10年に相続。弘化元年助九郎と改める。文久元年忰祐次郎へ相続
	662	加藤祐次(三)郎	千代蔵	塗師	文久元年(1861)	控帳	助九郎忰。文久元年に相続。明治元年閏４月御職人並
	663	松本次郎兵衛		塗師	安永５年(1776)	控帳	松本と改める。寛政９年竹屋七郎兵衛(研師)甥平四郎を養子。寛政10年忰平四郎へ相続
	664	松本平四郎		塗師	寛政９年(1797)	控帳	次郎兵衛忰。寛政10年に相続。文化３年弟八左衛門を養子。文化４年忰八左衛門へ相続
	665	松本八左衛門		塗師	文化３年(1806)	控帳	平四郎弟・平四郎養子。文化４年に相続。二人扶持。嘉永２年忰八三郎へ相続
	666	松本八三郎		塗師	嘉永２年(1849)	控帳	八左衛門忰。嘉永２年に相続。嘉永７年忰八左衛門が名代。安政５年忰八左衛門へ相続
	667	松本八左衛門		塗師	万延元年(1854)	控帳	八三郎忰。安政５年に相続
	668	私市屋庄助		塗師	享和２年(1802)	控帳	享和２年武具塗師。文化８年忰市郎兵衛へ相続
	669	(私市屋)市郎兵衛		塗師	文化８年(1811)	控帳	庄助忰。文化８年に相続。文政12年御用御免
	670	助十郎		塗師	文化８年(1811)	控帳	無頭足軽
	671	有富屋重兵衛		塗師	天保７年(1836)	控帳	天保７年御用聞。万延元年御免
	672	奥村利兵衛		塗師	弘化元年(1844)	控帳	弘化元年職人・奥村と改める。
	673	奥村利右衛門		塗師	弘化元年(1844)	控帳	(鳥取城下)二階町三丁目。弘化元年壱岐守様(東館)御用聞。万延元年武器製造方御用聞。文久２年苗字御免・奥村と改める
	674	安田(岩井屋)甚三郎		塗師	弘化２年(1845)	控帳	弘化２年御用聞。弘化３年職人並・安田と改める
	675	岩井屋(岩崎)甚五郎		塗師	万延元年(1860)	控帳	万延元年忰常次郎へ相続
	676	岩崎(岩井屋)常次郎		塗師	万延元年(1860)	控帳	文久２年苗字御免・岩崎と改める。
	677	小泉才次郎		塗師	安政２年(1855)	控帳	池田式部預鉄砲足軽。安政２年苗字御免・小泉と改める
	678	隠岐丈助		塗師	安政４年(1857)	控帳	安政４年職人・隠岐と改める
	679	隠岐清次郎		塗師	慶応２年(1866)	控帳	丈助忰
	680	田中(千草屋)庄兵衛		塗師	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。万延元年御用聞。文久３年職人並・苗字御免・田中と改める
	681	庄助		塗師	万延元年(1860)	控帳	(鳥取城下)本町二丁目。万延元年武器製造役所御用聞
	682	幸八		塗師	文久元年(1861)	控帳	文久元年武器製造役所御用聞
	683	吉平		塗師	文久２年(1862)	控帳	(鳥取城下)江崎町。文久２年御用聞
羽織師	684	弥吉		羽織師	元禄５年(1692)	控帳	
	685	伊四郎		羽織師	宝永２年(1705)	控帳	
	686	能勢又四郎		羽織師	享保２年(1717)	控帳	享保５年若殿様(４代藩主池田宗泰)御袴御召初御用相勤。能勢と改める。宝暦８年忰与市郎(又四郎)へ相続
	687	能勢又四郎	与市郎	羽織師	宝暦８年(1758)	控帳	又四郎忰。宝暦８年に相続。又四郎と改める。明和元年忰与三右衛門(又四郎)へ相続
	688	能勢又四郎	与三右衛門	羽織師	明和元年(1764)	控帳	又四郎忰。明和元年に相続。明和元年又四郎と改める
	689	豊四郎		羽織師	享保５年(1720)	控帳	(鳥取城下)豆腐町
	690	権兵衛		羽織師	享保９年(1724)	控帳	享保９年御用聞
	691	幸八		羽織師	享保13年(1728)	控帳	(鳥取城下)元魚町二丁目。享保13年欠落
	692	安右衛門		羽織師	享保13年(1728)	控帳	(鳥取城下)本町三丁目。享保13年欠落
	693	権七		羽織師	享保18年(1733)	控帳	
	694	利兵衛		羽織師	寛延元年(1748)	控帳	
	695	弥兵衛		羽織師	宝暦９年(1759)	控帳	宝暦９年甥弥七江へ相続
	696	弥七		羽織師	宝暦９年(1759)	控帳	弥兵衛甥
	697	権右衛門		羽織師	明和３年(1766)	控帳	明和３年忰へ相続
	698	市右衛門		羽織師	明和３年(1766)	控帳	
	699	吉太夫		羽織師	明和３年(1766)	控帳	明和５年忰喜兵衛(吉太夫)へ相続
	700	吉太夫	喜兵衛	羽織師	明和５年(1768)	控帳	吉太夫忰。吉太夫と改める
	701	吉太夫	甚五衛門	羽織師	寛政６年(1794)	控帳	吉太夫忰。吉太夫と改める。文政４年忰惣右衛門へ相続
	702	惣右衛門		羽織師	文政４年(1821)	控帳	吉太夫忰。文政４年に相続

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
羽織師	703	藤井清兵衛		羽織師	享和３年(1803)	控帳	享和３年御用聞。文化元年苗字御免・藤井と改める
張付師	704	作兵衛		張付師	明暦３年(1657)	控帳	
	705	五藤万蔵		張付師	正徳２年(1712)	控帳	
	706	五藤直七		張付師	延享３年(1746)	因府年表	延享３年自害
	707	五藤清六		張付師	寛政３年(1791)	控帳	寛政３年御支配召し上げ。寛政４年佐々木新七(張付師)忰喜平太を養子とし相続
	708	五藤喜平太		張付師	寛政４年(1792)	控帳	清六養子。寛政４年に相続。寛政７年弟万蔵を養子とし相続
	709	五藤万蔵		張付師	寛政７年(1795)	控帳	喜平太養子。寛政７年に相続。天保13年忰武平へ相続
	710	五藤武平		張付師	天保13年(1842)	控帳	万蔵忰。天保13年に相続。安政４年忰豊之助勘当を赦す。万延元年家業替・石火矢奉行助役
	711	五藤豊之助		張付師	安政４年(1857)	控帳	武平忰
	712	佐々木新七		張付師	明和４年(1767)	控帳	明和４年苗字御免・佐々木と改める
	713	佐々木儀作		張付師	天保４年(1833)	控帳	天保４年忰周次郎へ相続
	714	佐々木周次郎		張付師	天保４年(1833)	控帳	儀作忰。天保４年に相続。弘化元年忰周蔵へ相続
	715	佐々木周蔵		張付師	弘化元年(1844)	控帳	周次郎忰。弘化元年に相続
	716	佐々木半助	左助	張付師	天保５年(1834)	控帳	天保５年取立・苗字御免・佐々木と改める。半助と改める
	717	佐々木助三郎		張付師	嘉永元年(1848)	控帳	
	718	久次郎		張付師	嘉永元年(1848)	控帳	文久３年忰久三郎へ相続
	719	久三郎		張付師	文久３年(1863)	控帳	久次郎忰。文久３年に相続
	720	野村彦助		張付師	文化４年(1807)	細工人職人調二	文化４年御表具御張付御用聞。文政５年苗字御免・野村と改める。文政６年御職人並。文政８年表具師。嘉永２年御職人
	721	野村敬蔵		張付師	弘化３年(1846)	細工人職人調二	彦助忰
	722	野村彦助		張付師	安政４年(1857)	細工人職人調二	敬蔵忰。慶応元年御細工並
張田	723	惣三郎		張田	明暦３年(1657)	控帳	
火縄師	724	飯塚甚兵衛		火縄師	宝永６年(1709)	控帳	宝暦７年忰又三郎へ相続。宝暦７年死去
	725	飯塚又三郎		火縄師	宝暦７年(1757)	控帳	甚兵衛忰
	726	飯塚甚五右衛門		火縄師	明和４年(1767)	控帳	文化７年忰文之進へ相続
	727	飯塚文之進		火縄師	文化７年(1810)	控帳	甚五右衛門忰。文化７年に相続。弘化３年忰幸市へ相続
	728	飯塚幸市		火縄師	弘化４年(1847)	控帳	文之進忰。弘化３年に相続。安政６年火縄師御免
	729	飯塚文八郎		火縄師	慶応元年(1865)	控帳	幸市忰。慶応元年服部村鉄砲薬製場製方手伝御雇
彫物師	730	(後藤)与惣右衛門		彫物師	元禄７年(1694)	控帳	
	731	後藤与三右衛門		彫物師	宝暦３年(1753)	控帳	725の与惣右衛門と同一人物の可能性あり
	732	後藤喜兵衛		彫物師	享保３年(1718)	控帳	享保３年忰与惣右衛門へ相続
	733	後藤与三右衛門	与惣右衛門	彫物師	享保３年(1718)	控帳	喜兵衛忰。享保３年に相続。与三右衛門と改める。宝暦12年忰喜兵衛へ相続
	734	後藤喜兵衛		彫物師	宝暦12年(1762)	控帳	与三左衛門忰。宝暦12年に相続。寛政11年忰与八へ相続
	735	後藤与八		彫物師	寛政６年(1794)	控帳	喜兵衛忰。寛政11年に相続
	736	後藤峯蔵		彫物師	文政５年(1822)	控帳	与八忰
	737	後藤与三右衛門		彫物師	文政８年(1825)	控帳	与八忰。与八と改める。嘉永２年孫重次郎へ相続
	738	後藤喜兵衛		彫物師	嘉永２年(1849)	控帳	与八忰。嘉永２年眼病
	739	後藤重次郎		彫物師	嘉永２年(1849)	控帳	与八孫。嘉永２年に相続
	740	十次郎		彫物師	寛政12年(1800)	控帳	
	741	池内武七		彫物師	文化２年(1805)	控帳	文化２年御用聞・苗字御免・池内と改める・二人扶持
	742	阿波屋十次郎		彫物師	文化14年(1817)	控帳	文化14年御用聞御免
	743	村田(葛)十平		彫物師	文政５年(1822)	控帳	文政５年苗字御免・葛と改める。文政９年村田と改める。天保９年死去
	744	忠兵衛		彫物師	天保10年(1839)	控帳	御鉄砲足軽九兵衛忰。天保10年職人・苗字御免
	745	土屋周作		彫物師	安政３年(1856)	控帳	
	746	今井永武		彫物師	安政５年(1858)	控帳	京都刀装金工
幌籠師	747	山内久次郎		幌籠師	慶応２年(1866)	控帳	
蒔絵師	748	三右衛門		蒔絵師	寛文６年(1666)	控帳	
	749	庄右衛門		蒔絵師	寛文６年(1666)	控帳	
	750	半四郎		蒔絵師	宝永７年(1710)	控帳	宝永７年追放
	751	与惣兵衛		蒔絵師	享保２年(1717)	控帳	
	752	与惣兵衛	与三兵衛	蒔絵師	安永４年(1775)	控帳	安永４年召し出し。与惣兵衛と改める
	753	源四郎		蒔絵師	天明２年(1782)	控帳	天明２年与惣兵衛代り召し出し
	754	文左衛門		蒔絵師	寛政６年(1794)	控帳	
	755	次助		蒔絵師	文化５年(1808)	控帳	
	756	平次郎		蒔絵師	文政３年(1820)	控帳	
	757	加藤次郎七		蒔絵師	文政５年(1822)	控帳	加藤助九郎(塗師)弟。文政５年御用聞。弘化３年忰林次郎へ相続
	758	加藤林次郎		蒔絵師	弘化３年(1846)	控帳	次郎七忰。弘化３年に相続。塗蒔絵師。安政６年忰次郎七へ相続
	759	加藤次郎七		蒔絵師	安政６年(1859)	控帳	林次郎忰。安政６年に相続
	760	元屋徳次郎		蒔絵師	文久２年(1862)	控帳	(鳥取城下)江崎町。文久２年御用聞
	761	村上伊兵衛		蒔絵師	宝永元年(1704)	控帳	京都蒔絵師
	762	新八		蒔絵師	明和元年(1764)	控帳	江戸蒔絵師

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
滅金師	763	卯三郎		滅金師	天保５年(1834)	控帳	天保５年御用聞。嘉永３年忰平助へ相続
	764	平助		滅金師	嘉永３年(1850)	控帳	卯三郎忰。嘉永３年に相続
	765	嶋屋源三郎		滅金師	天保６年(1835)	控帳	安政５年忰寿兵衛へ相続
	766	嶋屋寿兵衛		滅金師	安政５年(1858)	控帳	源三郎忰。安政５年に相続
矢師	767	清七		矢師	寛文４年(1664)	控帳	寛文４年死去
	768	清七	助右衛門	矢師	寛文４年(1664)	控帳	清七忰。寛文４年相続。清七と改める
	769	下総		矢師	寛文12年(1672)	控帳	
	770	八右衛門		矢師	寛文12年(1672)	控帳	下総忰
	771	山田利助		矢師	宝永２年(1705)	控帳	京都矢師。宝永２年召し抱え・三人扶持・山田と改める。寛延元年死去
	772	山田伊兵衛		矢師	寛延元年(1748)	控帳	利助忰。寛延元年親跡目。宝暦10年忰利助へ相続。
	773	山田利助		矢師	宝暦10年(1760)	控帳	伊兵衛忰。宝暦10年に相続。安永３年忰儀三郎へ相続
	774	山田儀三郎		矢師	安永３年(1774)	控帳	利助忰。安永３年に相続
	775	山田儀三郎	槌右衛門	矢師	寛政10年(1798)	控帳	儀三郎忰。儀三郎と改める。文政５年忰茂助へ相続
	776	山田茂助		矢師	文政５年(1822)	控帳	儀三郎(槌右衛門)忰。文政５年に相続。弘化元年苗字御扶持取り上げ
	777	山田儀三郎		矢師	天保14年(1843)	控帳	茂助忰。弘化元年苗字御扶持取り上げ
	778	山田茂八郎		矢師	弘化３年(1846)	控帳	弘化３年職人並・山田と改める
	779	堀江清七		矢師	宝永２年(1705)	控帳	宝永２年引退
	780	堀江又十郎		矢師	宝永２年(1705)	控帳	清七忰
	781	理介		矢師	宝永５年(1708)	控帳	
	782	河村権兵衛		矢師	寛政７年(1795)	控帳	京都矢師。寛政７年召し抱え・河村と改める。寛政10年三人扶持。文化11年忰権左衛門へ相続
	783	河村万次郎		矢師	文化６年(1809)	控帳	権兵衛忰
	784	河村権左衛門		矢師	文化11年(1814)	控帳	権兵衛忰。文化11年に相続。弘化元年苗字御扶持取り上げ
	785	河村権三郎		矢師	天保６年(1835)	控帳	権左衛門忰。弘化元年苗字御扶持取り上げ。弘化３年職人並・河村と改める。慶応２年忰周次郎へ相続。
	786	河村宗八郎		矢師	万延元年(1860)	控帳	権三郎忰
	787	河村周次郎		矢師	慶応２年(1866)	控帳	権三郎忰。慶応２年に相続
	788	牧野庄八		矢師	弘化元年(1844)	控帳	河村権左衛門弟子。弘化元年召し出し・苗字御免・牧野と改める。安政５年忰庄兵衛へ相続
	789	牧野庄兵衛		矢師	万延元年(1854)	控帳	庄八忰。安政５年に相続
	790	武田弥助		矢師	安政３年(1856)	控帳	安政３年職人・武田と改める
	791	杉谷(嶋屋)峯三郎		矢師	万延元年(1860)	控帳	万延元年御用聞。文久２年苗字御免・杉谷と改める
	792	武部(園屋)儀三郎		矢師	万延元年(1860)	控帳	万延元年御用聞。文久２年苗字御免・武部と改める
	793	中村丈助		矢師	文久元年(1861)	控帳	京都矢師
	794	中川林蔵		矢師(江戸)	天保６年(1835)	江戸家老日記	江戸弓町矢師
鎗師	795	(片平)又右衛門		鎗師	明暦３年(1657)	控帳	享保９年忰喜兵衛へ相続
	796	(片平)喜兵衛		鎗師	享保９年(1724)	控帳	又右衛門忰。享保９年に相続
	797	片平又右衛門		鎗師	天明４年(1784)	控帳	天明４年忰半内へ相続。30と同一人物
	798	片平半内		鎗師	天明４年(1784)	控帳	又右衛門忰。天明４年に相続。寛政６年松岡屋平左衛門二男平蔵を養子
	799	片平判内	平蔵	鎗師	寛政６年(1794)	控帳	半内養子。判内と改める。文化７年忰又蔵へ相続
	800	片平又蔵		鎗師	文化７年(1810)	控帳	判内忰。文化７年に相続。安政６年忰藤市へ相続
	801	片平丈太夫	又六	鎗師・指物師	弘化４年(1847)	控帳	又蔵忰。弘化４年伊良子弘介代り指物師。慶応３年丈太夫と改める。291と同一人物
	802	片平東一	藤市	鎗師	安政５年(1858)	控帳	又蔵忰。安政６年に相続。東一と改める。慶応２年自殺
	803	長兵衛		鎗師(江戸)	寛政10年(1798)	江戸家老日記	江戸鎗師。寛政10年正阿弥八左衛門相仕
	804	庄次郎		鎗師(江戸)	天保14年(1843)	江戸家老日記	江戸鎗師
鎗金具師	805	中村喜助		鎗金具師・白銀師	弘化３年(1846)	控帳	白銀師。弘化３年苗字御免・中村と改める。安政６年忰平市へ相続
	806	中村義左衛門	平市	鎗金具師	嘉永４年(1851)	控帳	喜助忰。安政６年に相続。文久３年義左衛門と改める
	807	小林(小林屋)善兵衛		鎗金具師	安政５年(1858)	控帳	安政５年職人・苗字御免・小林と改める
鞴師	808	奥谷屋儀兵衛		鞴師	文化９年(1812)	控帳	文化９年御用聞
	809	作兵衛		鞴師	文化11年(1814)	控帳	文化14年御用聞御免
	810	寺崎林三郎		鞴師	文政10年(1827)	控帳	寺崎猪作弟。天保７年鞴師御免
	811	寺崎林治郎	弥之助	鞴師	天保７年(1836)	控帳	林三郎忰。安政３年林治郎と改める。慶応２年忰甚三郎へ相続
	812	寺崎甚三郎		鞴師	慶応２年(1866)	控帳	林治郎忰。慶応２年に相続
	813	田原七右衛門		鞴師	文政10年(1827)	控帳	文政10年御用聞。田原と改める。弘化元年苗字御扶持取り上げ
	814	田原平助		鞴師	弘化３年(1846)	控帳	弘化３年職人並・田原と改める
	815	中川善三郎		鞴師	安政３年(1856)	控帳	安政３年職人・中川と改める
	816	右近伝兵衛		鞴師	天保７年(1836)	控帳	京都鞴師
	817	釘貫利右衛門		鞴師(江戸)	嘉永６年(1853)	江戸家老日記	江戸鞴師
弓師	818	安左衛門		弓師	明暦３年(1657)	控帳	
	819	甚助		弓師	享保７年(1722)	控帳	
	820	伊藤与兵衛		弓師	元文４年(1739)	控帳	寛保３年出奔
	821	小林喜左衛門		弓師	延享元年(1744)	控帳	延享元年伊藤与兵衛跡役
	822	斎藤伝兵衛		弓師	延享４年(1747)	控帳	延享４年苗字御免・斎藤と改める。安永３年弟子伊兵衛を養子。安永３年養子伊兵衛(儀兵衛)へ相続

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum

職名	通番	職　人　名	初名等	職種	初見及び典拠資料		備考
弓師	823	斎藤儀兵衛	伊兵衛	弓師	安永３年(1774)	控帳	伝兵衛養子。安永３年に相続。寛政10年儀兵衛と改める。文化７年忰東市へ相続
	824	斎藤伝兵衛		弓師	寛政10年(1798)	控帳	伊兵衛(儀兵衛)忰。寛政10年死去
	825	斎藤東市		弓師	文化７年(1810)	控帳	儀兵衛忰。文化７年に相続。天保12年忰東右衛門へ相続
	826	斎藤文太郎		弓師	天保５年(1834)	控帳	東市忰
	827	斎藤東右衛門		弓師	天保12年(1841)	控帳	東市忰。天保12年に相続
	828	坂田半三郎	平次郎	弓師	天保４年(1833)	控帳	弘化２年半三郎と改める。安政４年忰治兵衛へ相続
	829	坂田菊蔵		弓師	天保４年(1833)	控帳	平次郎(半三郎)忰
	830	坂田治兵衛		弓師	天保14年(1843)	控帳	平次郎(半三郎)忰。安政４年に相続
	831	田中(油屋)十蔵		弓師	天保７年(1836)	控帳	天保７年御用聞。天保10年苗字御免・田中と改める。嘉永３年退身
	832	田中太一郎		弓師	嘉永３年(1850)	控帳	嘉永３年行方知れず
	833	井上佐助		弓師	安政３年(1856)	控帳	安政３年職人・井上と改める。元治元年忰佐次郎へ相続
	834	井上幸次郎		弓師	万延元年(1860)	控帳	佐助忰
	835	井上佐次郎		弓師・小銃金具師	元治元年(1864)	控帳	佐助忰。元治元年に相続。明治元年小銃金具師兼帯
	836	柏木八郎		弓師	安政４年(1857)	控帳	但州出石浪人。安政４年召し出し。安政６年職人苗字取り上げ
	837	庄兵衛		弓師(江戸)	宝暦13年(1763)	江戸家老日記	江戸弓師
	838	小川周蔵		弓師	明和４年(1767)	控帳	姫路本町弓師
	839	小川伊左衛門		弓師	寛政12年(1800)	控帳	播州姫路弓師
	840	小川猪左衛門		弓師	天保５年(1834)	控帳	
	841	左助		弓師	嘉永５年(1852)	控帳	姫路弓師小川伊左衛門手代
	842	柴村甚十郎		弓師	万延元年(1860)	控帳	京都弓師
弓下地師	843	坂田林十郎		弓下地師	寛政12年(1800)	控帳	寛政12年召し出し。文化２年三人扶持。文政７年忰平次郎へ相続
	844	坂田半三郎	平次郎	弓下地師	文政７年(1824)	控帳	林十郎忰。文政７年に相続。828と同一人物
	845	坂田菊蔵		弓下地師	文政９年(1826)	控帳	平次郎(半三郎)忰。829と同一人物
	846	坂田次兵衛		弓下地師	嘉永５年(1852)	控帳	半三郎忰。830と同一人物

 © 鳥取県立博物館 Tottori Prefectural Museum